

資 料

## 1. 調査団員・氏名

### (1) 現地調査 I

氏名	業務内容	所属
宮田 伸昭	団長	JICA 客員専門員
若杉 裕司	計画管理	JICA 人間開発部基礎教育グループ基礎教育第二課兼計画・調整課
村山 博紀	調達監理計画	JICS 業務第一部 施設第三課
道川 久文	業務主任／施設計画	株式会社 毛利建築設計事務所
毛利 信弘	建築設計 1	株式会社 毛利建築設計事務所
横堀 淳一	建築設計 2	株式会社 毛利建築設計事務所
山本 晋一	建築設計 3 (自社補強)	株式会社 毛利建築設計事務所
一番ヶ瀬 佳昭	施工計画／調達／積算	株式会社 毛利建築設計事務所
田中 真紀	教育計画	株式会社 毛利建築設計事務所
岡田 有希子	教育計画 2 (自社補強)	株式会社 毛利建築設計事務所
田中 広美	通訳	株式会社 翻訳センターパイオニア

### (2) 現地調査 II (概要説明調査)

氏名	業務内容	所属
外川 徹	団長	JICA ニジェール支所 支所長
酒井 雅義	計画管理	JICA ニジェール支所 企画調査員
道川 久文	業務主任／施設計画	株式会社 毛利建築設計事務所
一番ヶ瀬 佳昭	施工計画／調達／積算	株式会社 毛利建築設計事務所
菊池 康	通訳	株式会社 翻訳センターパイオニア

### (3) 現地調査 III (入札図書作成参考資料説明調査)

氏名	業務内容	所属
道川 久文	業務主任／施設計画	株式会社 毛利建築設計事務所
一番ヶ瀬 佳昭	施工計画／調達／積算	株式会社 毛利建築設計事務所
菊池 康	通訳	株式会社 翻訳センターパイオニア

## 2. 調査行程

### (1) 現地調査 I (2011.10.23~2011.11.26)

日時	官団員		a	b	c	自主補強	d	e	自主補強	f
	総括、計画管理	調達管理計画	業務主任/施設計画	建築設計1	建築設計2	建築設計3	施工計画/調達/積算	教育計画	教育計画2	通訳
	JICA 宮田、若杉	JICS 村山	道川久文	毛利信弘	横堀淳一	山本晋一	一番ヶ瀬佳昭	田中真紀	岡田希子	田中広美
	13日間	13日間	35日間	35日間	35日間	23日間	35日間	35日間	20日間	35日間
1 2011/10/23 日			成田発→パリ				成田発→パリ		成田発→パリ	成田発→パリ
2 2011/10/24 月			パリ→コトヌ着				パリ→コトヌ着		→アクラ	パリ→コトヌ着
3 2011/10/25 火			JICA支所表敬、幼少・初等教育省表敬・協議	aに同行	aに同行		aに同行	aに同行		aに同行
4 2011/10/26 水			幼少・初等教育省協議	同上	再委託関連調査、建築設計関連調査		再委託関連調査、建築設計関連調査	同上		同上
5 2011/10/27 木			ナティエングへ移動	再委託関連調査、建築設計関連調査	同上	成田発→パリ	同上	同上		同上
6 2011/10/28 金			県教育局表敬、視学官との打合せ	同上	同上	パリ→コトヌ着	同上	同上		同上
7 2011/10/29 土			サイト調査日程調整	同上	建築設計関連調査		同上	同上		同上
8 2011/10/30 日			EDO学校視察	ナティエングに移動	ナティエングに移動	ナティエングに移動	ナティエングに移動	同上		同上
9 2011/10/31 月			サイト合同調査 28.27.26	サイト合同調査	サイト合同調査	サイト合同調査	サイト合同調査	サイト合同調査		aに同行
10 2011/11/1 火			15, 14	36, 34	13, 16	bに同行	aに同行	aに同行	アクラ→ローモトヌ	同上
11 2011/11/2 水			10, 12	32, 35	29, 30, 31	同上	同上	3次の学校調査、県教育局施設協議	コトヌ→アタラ	同上
12 2011/11/3 木			11	33, 6	24, 25	同上	同上	cに同行、県教育局施設協議	eに同行	同上
13 2011/11/4 金			18, 21, 22	17, 20	19, 23	同上	同上	aに同行、2次の学校調査、県教育局と質問票にかかる確認	同上	同上
14 2011/11/5 土			4, 5	1, 2, 3	7, 8, 9	同上	同上	bに同行	同上	同上
15 2011/11/6 日			コトヌへ移動	ジョグーへ移動	ジョグーへ移動	ジョグーへ移動	ジョグーへ移動	ジョグーへ移動	ジョグーへ移動	コトヌへ移動
16 2011/11/7 月			資料整理(タバスキ祭の代休)	45, 48	52, 53, 57	bに同行	調達・積算関連調査	cに同行	eに同行	aに同行
17 2011/11/8 火			教育省と技術面協議	47, 49	55, 50	同上	調達・積算関連調査	cに同行	同上	同上
18 2011/11/9 水			教育省と技術面協議、建設中施設視察	42, 43	46, 56	同上	コトヌに移動	aに同行、NGO調査、県教育局と質問票にかかる確認	同上	同上
19 2011/11/10 木			同上	37, 41	同上	同上	調達・積算関連調査	aに同行、3次の学校調査、教育局と質問票にかかる確認	同上	同上
20 2011/11/11 金			同上	38, 39, 40	同上	同上	同上	コトヌに移動	同上	同上
21 2011/11/12 土			資料整理	資料整理	コトヌに移動	資料整理	資料整理	資料整理	資料整理	資料整理
22 2011/11/13 日			羽田発→パリ→コトヌ着	資料整理	資料整理	資料整理	資料整理	資料整理	資料整理	資料整理
23 2011/11/14 月			日本大使館、JICA支所表敬、幼少・初等教育省表敬、幼少・初等教育省OPPとコミニッツ(M/D)概要確認	県教育局で情報収集	建築設計関連調査	bに同行	調達・積算関連調査	4次の学校調査	eに同行	aに同行
24 2011/11/15 火			アタカラ県へ移動中に過去の案件のサイト視察	コトヌへ移動	同上	コトヌへ移動	同上	4次の学校調査、NGO調査	同上	同上
25 2011/11/16 水			アタカラ県教育事務所表敬、アタカラ県の過去の案件、要請サイト視察	建築設計関連調査	同上	コトヌ発→	同上	教育関連調査	同上	同上
26 2011/11/17 木			アタカラ県の要請サイト視察→ドンガ県へ移動	同上	同上	→パリ	同上	INSAE、教育関連調査	同上	同上
27 2011/11/18 金			ドンガ県の過去の案件、要請サイト視察	資料整理(ローマ法王来べによる休日)	資料整理(ローマ法王来べによる休日)	→成田着	同上	NGO調査	コトヌ発→	同上
28 2011/11/19 土			コトヌへ移動	資料整理	資料整理	資料整理	資料整理	資料整理	→パリ	同上
29 2011/11/20 日			団内会議、資料整理	団内会議、資料整理	団内会議、資料整理	団内会議、資料整理	団内会議、資料整理	団内会議、資料整理	→成田着	資料整理
30 2011/11/21 月			幼少・初等教育省OPPとコミニッツ(M/D)協議	概略設計案作成	建築設計関連調査		調達・積算関連調査	NGO調査、教育関連調査、aに同行		aに同行
31 2011/11/22 火			JICA支所、日本大使館報告	テクニカルノート案作成	同上	同上	同上	私立ENI(カラビ)調査		同上
32 2011/11/23 水			コミニッツ(M/D)署名、外務省表敬、コトヌ発→	M/D署名、テクニカルノート協議・署名	同上	同上	同上	教育関連調査、ENI(ホルト)調査		同上
33 2011/11/24 木			→パリ	JICA支所報告、コトヌ発→	同上	同上	同上	JICA支所報告、コトヌ発→		コトヌ発→
34 2011/11/25 金			→羽田着	→パリ						→パリ
35 2011/11/26 土			→成田着	→成田着						→成田着

(注)表中の番号は要請校番号

### (2) 現地調査 II (概要説明調査) (2012.9.1~2012.9.14)

日時	官団員		a	d	f
	団長、計画管理	業務主任/施設計画	施工計画/調達/積算	通訳	
	JICA外川支所長 酒井企画調査員	道川久文	一番ヶ瀬佳昭	菊池康	
	4日間	14日間	14日間	14日間	
1 2012/9/1 土	成田発→パリ				
2 2012/9/2 日	パリ→コトヌ着				
3 2012/9/3 月	JICA事務所協議、幼少・初等教育省への概要説明				
4 2012/9/4 火	ミニッツ協議		現地コンサル調査	aに同行	
5 2012/9/5 水		ミニッツ協議・JICA報告	現地施工業者調査	同上	
6 2012/9/6 木		現地コンサル協議、現地再委託		同上	
7 2012/9/7 金	日本大使館表敬		現地コンサル協議	同上	
8 2012/9/8 土	設計積算補足調査				
9 2012/9/9 日	資料整理				
10 2012/9/10 月	現地再委託業務				aに同行
11 2012/9/11 火	ミニッツ署名				
12 2012/9/12 水	補足調査、コトヌ→				
13 2012/9/13 木	→パリ				
14 2012/9/14 金	→成田着				

(3) 現地調査Ⅲ（入札図書作成参考資料説明調査）（2013. 1. 12～2013. 1. 25）

日時			業務主任	施工計画/調達/積算	通訳
			道川久文	一番ヶ瀬佳昭	菊池康
			14日間	14日間	14日間
1	2013/1/12	土	成田2155(AF277)0305/パリ		
2	2013/1/13	日	/パリ1345(AF804)2000コトヌ		
3	2013/1/14	月	JICA表敬、計画予測局(DPP)、施設機材メンテナンス局(DIEM)に入札参考資料説明、大使館表敬		
4	2013/1/15	火	現地コンサルタントと打合わせ、JICSと打ち合わせ		
5	2013/1/16	水	ナティティングへ移動、アボメで家具業者調査		
6	2013/1/17	木	アタコラ県・ドンガ県教育事務所(DDEMP)へ入札参考資料説明、アタコラ県サイト視察		
7	2013/1/18	金	ドンガ県サイト視察、コンクリート試験場調査		
8	2013/1/19	土	ナティティングからコトヌへ移動		
9	2013/1/20	日	資料整理		
10	2013/1/21	月	現地コンサルタントと協議、DPP、DIEM協議、テクニカルノート署名		
11	2013/1/22	火	現地コンサルタントと協議、銘板業者調査、DPP/DIEM協議		
12	2013/1/23	水	大使館報告、JICSと打ち合わせ、JICA事務所報告、コトヌ2345(AF805)→		
13	2013/1/24	木	→0555/パリ→		
14	2013/1/25	金	→成田着		

### 3. 関係者（面会者）リスト

#### 幼少・初等教育省 Ministère des Enseignement Maternel et Primaire (MEMP)

Mr. Eric N' DAH	大臣	-
Mr. Gilles Théophile YEKPON	官房長	-
Mr. Salimane KARIMOU	次官	-
Mr. Abdoulaye DARAH SOULE	計画・予測局 (DPP)	局長
Mr. Fatcheoun TCHOBO	DPP	局次長
Mr. Marcellin SOTOHOU	DPP	プロジェクト調整・計画・管理課 課長
Mr. Yve ALLANSANON	DPP	プロジェクト調整・計画・管理課
Mr. Marino GOMEZ	DPP	統計課長
Ms. Emilienne DEHOMOM BOURAIMA	DPP	秘書
Mr. Alain SOKPON S.	教育地方分権化・協力局 (DDEC)	局長
Mr. Maurice Aristide ATINDEHOU	DDEC	副局長
Mr. Hugues Branète ADJAGBA	DDEC	協力課長
Ms. Naimah AKADIRI A.	DDEC	協力課
Ms. Chantal DOVONOU	DDEC	協力課
Mr. Claude A. AISSOUN	施設・機材・メンテナンス局 (DIEM)	課長
Mr. Bouni AFOUDA	DIEM	教員養成校プロジェクト・コーディネーター (第四次小学校建設計画コーディネーター)
Mr. Prodéo KAKPO	DIEM	エンジニア
Mr. Guillaume SENOU	DIEM	エンジニア
Mr. Mathias AHOSSI	DIEM	エンジニア
Mr. Osseni ABOUMON	財務・機材局 (DRFM)	機材・ロジスティック課長
Mr. Eric AKODJI T.	DRFM	予算課 係長
Mr. Elie AZON	初等教育局 (DEP)	副局長
Mr. Younoussa NONDICHAO	DEP	学校組織・予測課長
Mr. Mathias AGO	教育視学局 (DIP)	局長

#### アタコラ・ドンガ県教育事務所 Direction Régionale de l'Enseignement Maternel et Primaire (DDEMP)

Mr. Jean DOUAKOUTCHE	局長	-
Mr. Mathurin TOMTOKOUM	施設機材メンテナンス課	課長
Mr. Arouna KASSOUMOU	施設機材メンテナンス課	副課長
Mr. Diffonni Désiré N' KOUE N' DAH	施設機材メンテナンス課	職員
Mr. Abel DJOSSOU	財務・機材課	課長

Mr. Datagou KASSA	学校組織計画課	課長
Mr. Maman BESEMAN	人事課	課長

アタコラ県視学官事務所 Circonscription Scolaire, CS

Mr. Léon GNAGI	Natitingou 視学官事務所	視学官
Mr. Godonou BOTON	Boukombé 視学官事務所	視学官
Mr. Maybire GOUDOU A.	Kérou 視学官事務所	視学官
Mr. Dodji AZONDJEDO	Kouandé 視学官事務所	視学官
Mr. Nata Emile OKAMMATI	Matéri 視学官事務所	視学官
Mr. Célestin LOKOSSOU	Pehunco 視学官事務所	視学官
Mr. René Honkpo TOSSOU	Tanguieta および Cobly 視学官事務所	視学官
Mr. Tchangouéga YAGOU	Toucountouna 視学官事務所	視学官

ドンガ県視学官事務所 Circonscription Scolaire, CS

Mr. Désiré GUEDEME	Bassila 視学官事務所	視学官
Mr. F. Aimé BARNOR A.	Copargo 視学官事務所	視学官
Mr. Gounou BAGUIDI	Djougou 1 視学官事務所	視学官
Mr. Barnabé DEGON	Djougou 2 視学官事務所	視学官
Mr. Foudon ALASSANE	Ouaké 視学官事務所	視学官

初等教員養成校 Ecoles Normales d'Instituteurs (ENI)

Mr. Koami Bruno KOUDJANGNIHOUE	ポルトノボ教員養成校	校長
Ms. Monique ZOUNTCHEGBE AGBESSI	アボメ・カラヴィ教員養成校 (私立)	教務課長

国立統計経済分析研究所 Institut National de Statistique et de l'Analyse Economique (INSAE)

Mr. Jules DAGA	国立統計経済分析研究所	刊行部長
----------------	-------------	------

国立公共事業試験所 Centre National d'Essais et de Recherches des Travaux Publics (CNERTP)

Mr. François TOLLO	国立公共事業試験所 (CNERTP)	所長
Mr. Bertin AHOUANDJISSA A.	CNERTP	実験部長
Ms. Anita BOSSOUKPE	CNERTP	プロジェクト課長
Mr. Anges MONGAZI	CNERTP	会計室長
Mr. Hypolite AKLE	CNERTP	アタコラ・ドンガ支所長

NGO

Mr. Camille OGOUSSAN	Plan Bénin	プログラムユニットマネージャ
Mr. Barnard AGBANGLA	Plan Bénin	教育コーディネーター

Mr. Paul LOKO	CAEB	所長
Ms. Jeanne HONVO	CAEB	プログラム担当
Mr. Marcel ASSIGNAME	CERID-ONG	所長
Mr. Hervé GBEGANG	CERID-ONG	経済専門家
Mr. Lucien ADOSSOU	CERID-ONG	法律専門家
Mr. Jérémie TCHIWANOU C.	CERID-ONG	地理専門家
Mr. Rotimy DJOSSAYA	CARE International Benin/Togo	ベナン事務所 所長
Mr. Bonaventure NZAVUGAMBONYIMANA	CARE International Benin/Togo	プログラムクオリティ・モバイル リソース担当
Ms. Chantal BOSSOU	CARE International Benin/Togo	革新プログラム補佐
Mr. Maurice SOSSOU	CARE International Benin/Togo	プログラムイニシアチブマネー ジャー補佐
Mr. Faustin DJAGBA N.	MJCD-ONG	所長
Mr. Adolphe DJAGBA	MJCD-ONG	トレーニング担当
Mr. Nicolas ZINSOU	MJCD-ONG	プログラム担当
Ms. Berthe CODJA	MJCD-ONG	

在ベナン日本国大使館 Ambassade du Japon au Bénin

塚原 大貳	特命全権大使
迫 久展	参事官
渡邊 直之	三等書記官
薄井 寛	三等書記官 (2011.11 当時)
吉村 溪	専門調査員

ベナン JICA 支所 JICA/JOCV Benin Office

外川 徹	支所長
山本 るみ子	支所長 (2011.11 当時)
神藤 恵史	企画調査員
酒井 雅義	企画調査員 (2011.11 当時)
Ms. Mariana AGONGLO	アシスタント

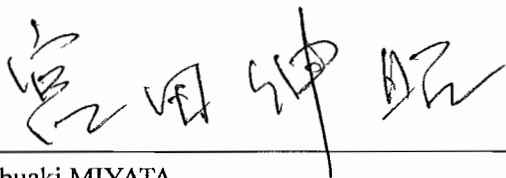
**PROCES-VERBAL DES DISCUSSIONS  
RELATIVES A  
L'ETUDE PREPARATOIRE  
(ETUDE SUR LE TERRAIN I - ETUDE DU CONCEPT SOMMAIRE)  
POUR  
LE PROJET DE CONSTRUCTION ET D'EQUIPEMENT DE SALLES DE CLASSE  
DANS LES ECOLES PRIMAIRES PUBLIQUES  
EN REPUBLIQUE DU BENIN (PHASE V)**

En réponse à la requête présentée par le Gouvernement de la République du Bénin, le Gouvernement du Japon a décidé d'effectuer l'étude préparatoire de la coopération relative au Projet de Construction et d'Equipement de salles de classe dans les Ecoles Primaires Publiques en République du Bénin (Phase V) (ci-après désigné « le Projet »), et a confié l'exécution de l'étude à l'Agence Japonaise de Coopération Internationale (ci-après désignée « la JICA »).

La JICA a envoyé au Bénin une mission d'étude du concept sommaire (ci-après désignée « la Mission ») dirigée par Monsieur Nobuaki MIYATA, Conseiller senior invité à la JICA, qui y séjournera du 24 octobre au 24 novembre 2011.

A l'issue d'une série de discussions et l'étude sur le terrain, les deux parties ont confirmé les principaux points mentionnés dans l'appendice.

Fait à Porto-Novo, le 23 novembre 2011



Nobuaki MIYATA  
Chef de mission d'étude du concept sommaire  
Agence Japonaise de Coopération Internationale  
Japon



Gilles Théophile YEKPON  
Directeur de Cabinet  
Ministère des Enseignements Maternel et  
Primaire  
République du Bénin



## APPENDICE

### 1. Objectif du Projet

L'objectif du Projet est d'améliorer l'environnement scolaire des écoles primaires publiques dans les départements de la Donga et de l'Atacora, à travers l'extension et la reconstruction des infrastructures scolaires ainsi que la fourniture du mobilier scolaire.

### 2. Organisme responsable et organisme d'exécution du pays bénéficiaire

2-1. L'organisme responsable du Projet est le Ministère des Enseignements Maternel et Primaire (MEMP) de la République du Bénin.

2-2. L'organisme d'exécution du Projet est la Direction de la Programmation et de la Prospective du MEMP.

### 3. Contenu de la requête

A travers des discussions, les deux parties ont confirmé les éléments indiqués ci-dessous comme une requête définitive. En outre, la partie béninoise a accepté que le contenu définitif de la coopération soit déterminé sur la base des résultats de l'analyse au Japon de la présente étude, et que tout le contenu de la requête ne serait pas forcément pris en compte par le Projet.

#### 3-1. Ecoles cibles

La zone cible du Projet est constituée des départements de la Donga et de l'Atacora, et les écoles faisant l'objet de l'étude sont au nombre de soixante (60) établissements indiqués dans l'Annexe 1. Ces écoles seront triées selon les critères d'élimination mentionnés dans l'Annexe 2, compte tenu des résultats de l'étude des sites effectuée par les consultants et l'analyse au Japon. Ensuite les écoles seront classées par ordre de priorité selon les critères de priorisation mentionnés dans l'Annexe 2. L'étendue définitive de la coopération sera déterminée par le Gouvernement du Japon.

#### 3-2. Composante « infrastructures »

La composante « infrastructures » du Projet contient les salles de classe sans étage (avec armoire incorporée), le bureau de directeur, le magasin (avec étagère incorporée) et le bloc sanitaire.

#### 3-3. Composante « équipements »

La composante « équipements » du Projet contient le mobilier scolaire (table-banc pour enfants, table et chaise pour enseignant, tableau sur chevalet) et le mobilier pour le bureau de directeur (bureau et chaise, armoire, chaises pour visiteurs). En principe, le matériel didactique et le matériel de gestion et de maintenance ne feront pas l'objet de la composante, mais au cas où un reliquat resterait, l'intégration desdits matériels dans le Projet sera envisagée.



### 3-4. Composante « soft »

Suite à la requête de la partie béninoise, la nécessité de la composante soft, en matière de gestion et de maintenance des infrastructures après la construction, sera examinée sur la base des résultats de cette étude. La décision sur son exécution ou non sera prise après l'analyse au Japon des résultats de l'étude.

### 4. Système d'aide non remboursable au développement communautaire du Japon

La partie béninoise a pris connaissance du système d'aide non remboursable au développement communautaire du Japon, mentionné dans les **Annexes 3 et 4**, et a donné son accord sur la mise en œuvre du Projet dans le cadre de ce système. Les deux parties prendront les mesures nécessaires comme mentionnées dans l'**Annexe 5** lors de la mise en œuvre du Projet.

### 5. Exonération des taxes

En vue de la mise en œuvre du Projet, la partie béninoise s'est engagée à prendre des mesures nécessaires pour l'exonération des taxes mentionnées dans les points 9 et 10 de l'**Annexe 5**, à savoir, celle sur les services effectués par l'Agent d'approvisionnement, le consultant japonais et les entrepreneurs locaux, ainsi que les achats de produits et l'acte du marché relevant desdits services.

### 6. Calendrier de l'Etude (possibilité de modification en fonction du plan budgétaire du Japon)

6-1. Suite aux résultats de l'étude des sites au Bénin, la Mission effectuera l'analyse au Japon I, jusqu'au mois de mai 2012 environ. Ensuite, la JICA enverra au Bénin vers le mois de mai ou juin 2012 une mission d'explication du projet de rapport de l'étude préparatoire ainsi que les coûts approximatifs du Projet (y compris les frais de l'Agent d'approvisionnement).

6-2. Après l'analyse au Japon II, la Mission se rendra au Bénin vers le mois de novembre 2012 pour expliquer les documents de référence pour le Dossier d'Appel d'Offres.

### 7. D'autres points discutés

#### 7-1. Réduction des coûts

En vue d'utiliser avec efficacité le budget déjà limité du Projet de coopération financière non remboursable, la partie japonaise a donné des explications sur la réduction du coût des travaux de construction, à travers les spécifications des infrastructures des écoles à construire, la qualité des matériels et des matériaux et la méthode de leur approvisionnement ainsi que l'élaboration du calendrier du Projet, tout en tenant compte du maintien de la qualité. La partie béninoise a partagé ce point de vue.

#### 7-2. Acte de donation des sites

La partie béninoise s'est engagée à présenter à la Mission ou au Bureau de la JICA au Bénin avant la fin

du mois d'avril 2012, l'acte de donation des sites concernés, et mentionnés dans l'**Annexe 1**.

#### 7-3. Principaux travaux et prestations à exécuter par la partie béninoise

La partie béninoise s'est engagée à obtenir le budget pour les travaux et prestations à sa charge mentionnés dans l'**Annexe 5** et à les exécuter correctement. De même, la partie béninoise s'est engagée à mettre en œuvre diligemment lesdits travaux et prestations pour un bon déroulement du Projet afin d'éviter le retard du calendrier prévu.

#### 7-4. Affectation des enseignants

La partie béninoise s'est engagée à affecter les enseignants nécessaires aux écoles construites par ce Projet.

#### 7-5. Traitement des complexes scolaires

L'évaluation des besoins en salles de classe dans le cadre de ce Projet se fera en tenant compte de la situation globale du complexe scolaire, mais la création d'une nouvelle école au sein d'un complexe scolaire ne fera pas l'objet du Projet. De ce fait, la partie béninoise a accepté de présenter immédiatement une requête à la Mission ou au Bureau de la JICA au Bénin.

#### 7-6. Traitement des salles de classe en dur non achevées et les travaux suspendus

La partie béninoise a accepté que, pour calculer le nombre de salles de classe à construire, les salles de classe en dur en construction mais dont les travaux sont suspendus, soient traitées comme celles qui seront achevées par la partie béninoise.

**Annexe 1** : Liste des écoles faisant l'objet de l'étude

**Annexe 2** : Critères d'élimination d'écoles cibles et Priorisation des écoles (projet)

**Annexe 3** : Aperçu du système de l'aide non remboursable au développement communautaire

**Annexe 4** : Circuit du fonds dans le cadre du l'aide non remboursable au développement communautaire

**Annexe 5** : Principales mesures à prendre par chaque gouvernement



*Handwritten signature or initials in the bottom left corner.*

## ANNEXE 1 Liste des écoles faisant l'objet de l'étude

N° d'ordre	Département	Commune	Arrondissement	Ecole
DEPARTTEMENT DE L'ATACORA				
1	ATACORA	BOUKOUMBE Centre	BOUKOUMBE	KOUSSOUCOINGOU/B
2	ATACORA	BOUKOUMBE	BOUKOUMBE	KOUPAGOU 1
3	ATACORA	BOUKOUMBE	BOUKOUMBE	KOUTCHAGOU/B
4	ATACORA	BOUKOUMBE	MANTA	KOUKOUANGOU
5	ATACORA	BOUKOUMBE	KOUSSOUCOINGOU	KOUWETAKOUANGOU
6	ATACORA	COBLY	COBLY	TOUGA
7	ATACORA	COBLY	COBLY	NANAGADE/B
8	ATACORA	COBLY	KOUNTORI	OUKPINTHOUN
9	ATACORA	COBLY	KOUNTORI	SAKOUNTIENOU
10	ATACORA	KEROU	KEROU	GAMMON-KINNIN/B
11	ATACORA	KEROU	KEROU	GOUNENOU-GANDO
12	ATACORA	KEROU	KEROU	KARIGOUROU/B
13	ATACORA	KOUANDE	GUILMARO	GUILMARO/B
14	ATACORA	KOUANDE	KOUANDE	SEKOGOUROU/B
15	ATACORA	KOUANDE	OROUKAYO	OROUKAYO/C
16	ATACORA	KOUANDE	KOUANDE	EUC/C KOUANDE
17	ATACORA	MATERI	DASSARI	TETONGA/B
18	ATACORA	MATERI	MATERI	MATERI/D
19	ATACORA	MATERI	GOUANDE	GOUANDE/C
20	ATACORA	MATERI	TANTEGA	KOUMPEHOUN
21	ATACORA	MATERI	MATERI	YONDISSER/B
22	ATACORA	MATERI	TCHANHOUN-COSSI	TCHANHOUN-COSSI/A
23	ATACORA	MATERI	GOUANDE	TCHARIKOUANGOU
24	ATACORA	NATINGOU	KOTOPOUNGA	KOTOPOUNGA/B
25	ATACORA	NATINGOU	KOTOPOUNGA	BOKRONA-POUYA
26	ATACORA	NATINGOU	1ER ARRONDISSEMENT	YOKOSSI/C
27	ATACORA	NATINGOU	1ER ARRONDISSEMENT	OURBOUGA/C
28	ATACORA	NATINGOU	2EME ARRONDISSEMENT	BORYOURE/C
29	ATACORA	PEHUNCO	PEHUNCO	PEHUNCO/D
30	ATACORA	PEHUNCO	PEHUNCO	SINNAWOURAROU/B
31	ATACORA	PEHUNCO	PEHUNCO	GBERASSON/B

XJ. lu

N° d'ordre	Département	Commune	Arrondissement	Ecole
32	ATACORA	TANGUIETA	TAIAKOU	KOUTCHOUTHOUGOU
33	ATACORA	TANGUIETA	TANONGOU	SANGOU
34	ATACORA	TANGUIETA	TANGUIETA	MAMOSSA
35	ATACORA	TANGUIETA	TAIAKOU	OUANKOU
36	ATACORA	TOUCOUNTOUNA	TOUCOUNTOUNA	TOUCOUNTOUNA/D
DEPARTEMENT DE LA DONGA				
37	DONGA	BASSILA	ALEDJO	IYO
38	DONGA	BASSILA	BASSILA	BARIKINI
39	DONGA	BASSILA	BASSILA	KPREKETE/B
40	DONGA	BASSILA	BASSILA	KONIN
41	DONGA	BASSILA	ALEDJO	IGUI-AGAHOU
42	DONGA	COPARGO	PABEGOU	TOMI
43	DONGA	COPARGO	PABEGOU	GNAMBAGA
44	DONGA	DJOUGOU	PATARGO	NIMA (EX PARTAGO-QUARTIER)
45	DONGA	DJOUGOU	1ER ARRONDISSEMENT	GAH/B
46	DONGA	DJOUGOU	BARIEYOU	TOKOTOKO/B
47	DONGA	DJOUGOU	3EME ARRONDISSEMENT	BATOULOU/D
48	DONGA	DJOUGOU	1ER ARRONDISSEMENT	SASSIROU/B
49	DONGA	DJOUGOU	3EME ARRONDISSEMENT	BAPARAPEI/D
50	DONGA	DJOUGOU	BOUGOU	BOUGOU/A
51	DONGA	DJOUGOU	ONKLOU	BAKOU/B
52	DONGA	DJOUGOU	2EME ARRONDISSEMENT	DJAKPINGOU/B
53	DONGA	DJOUGOU	2EME ARRONDISSEMENT	TEPABA/D
54	DONGA	DJOUGOU	PATARGO	MONMONGOU
55	DONGA	DJOUGOU	KOLOKONDE	BAKOUFOWA/B
56	DONGA	DJOUGOU	BARIEYOU	AKEKEROU
57	DONGA	DJOUGOU	2EME ARRONDISSEMENT	KILIR/D
58	DONGA	OUAKE	SEMERE II	AGUE-GARBA
59	DONGA	OUAKE	SEMERE I	ATCHAKITAME
60	DONGA	OUAKE	SEMERE I	ATCHANKPA-KOLAH

AK

N.M

## ANNEXE 2 : Critères d'élimination d'écoles cibles et Priorisation des écoles (projet)

### 1. Critères d'élimination d'écoles cibles (projet)

(1) Les écoles auxquelles s'appliquent les critères suivants seront éliminées du Projet.

#### Critères d'élimination des écoles cibles (projet)

- 1) Ecole n'ayant pas la nécessité de construire de salles de classe
- 2) Ecole faisant l'objet d'un projet de construction des infrastructures d'autres partenaires
- 3) Ecole n'ayant pas le document attestant la propriété ou le droit d'utilisation du terrain
- 4) Ecole ne pouvant pas assurer un espace suffisant pour la construction
- 5) Ecole ayant des obstacles à la construction, comme l'occupation illégale, etc.
- 6) Ecole ayant des problèmes d'accès par véhicule ou de livraison des matériaux/matériels de construction au site de construction tout au long de l'année
- 7) Ecole ayant des problèmes de sécurité
- 8) Ecole ayant le risque de subir des catastrophes naturelles comme l'inondation ou le glissement de terrain
- 9) Autres

(2) Suite à l'étude des sites, les six (6) écoles ci-dessous seront éliminées du Projet pour des raisons mentionnées dans 6) plus haut.

a. Quatre (4) sites ayant le problème d'accès par véhicule de travaux à cause du mauvais état des routes.

5 Kouwetakpangou / 32 Koutchoutchougou / 35 Ouankou / 41 Igui-Agahou

b. Deux (2) sites ayant le problème d'accès par véhicule de travaux à cause de l'écroulement du pont sur la voie d'accès.

40 Konin / 42 Tomi

Il est à noter que ces écoles éliminées pourraient être réintégrées dans la liste à l'issue des résultats de l'analyse au Japon en conformité avec les critères ci-dessus, et en fonction de l'état d'avancement du Projet.

### 2. Priorisation des écoles (projet)

Les écoles cibles seront classées par ordre de priorité en tenant compte de la situation globale du complexe scolaire.

(1) Les écoles sont classées par ordre de priorité selon les chiffres obtenus par l'expression suivante : plus la valeur est élevée, plus l'école est priorisée. Pour ce calcul, les statistiques de l'ensemble du groupe scolaire seront prises en compte.

$$\text{Nombre d'élèves ne pouvant pas étudier dans une salle de classe en dur} = \text{nombre d'enfants} - (\text{nombre de salles de classe en dur existantes} \times 50)$$

(2) Au cas où le chiffre obtenu serait le même pour plusieurs écoles, la priorité sera donnée à celle qui a moins de salles de classe en dur.

(3) Les sites ayant des difficultés d'accès par véhicule en saison des pluies seront moins priorisés en raison des risques de mauvaise efficacité des travaux.

(4) Après avoir pris en compte toutes les écoles ciblées remplissant les critères, d'autres écoles pourraient être construites par le Projet. Dans ce cas, seules les écoles des complexes scolaires où les besoins auraient été identifiés par la Mission, seront concernées.

**NB :**

« Salles de classe en dur » : Infrastructures en béton armé, en bloc de béton ou en brique construites par l'Etat ou par des bailleurs de fonds et qui sont considérées suffisamment utilisables. Des salles de classe non achevées à cause de la suspension des travaux sont incluses dans cette catégorie.

« Salles de classe non considérées comme construction en dur ».

Infrastructures qui ne satisfont pas les normes du ministère, telles que sous pailote, en apâtam, en banco, etc.

**3. Autre**

(1) Nombre d'élèves par salle de classe et nombre de salles de classe à construire au maximum

Le nombre de salles de classe à construire sera calculé sur la base du ratio élève/classe de cinquante (50), et le nombre de salle de classe à construire par école sera de six (6) au maximum.

(2) Contrainte due à l'insuffisance de la superficie du site

Au cas où la superficie du terrain de l'école ne serait pas suffisante, les salles de classe seront conçues dans la mesure du possible.



*N. L.*

## ANNEXE 3

### Aide Non-Remboursable au Développement Communautaire du Gouvernement du Japon (Provisoire)

Le Gouvernement du Japon (ci-après dénommé « le GDJ ») est en train de mettre en place des réformes organisationnelles pour améliorer la qualité des opérations APD, et comme partie de cette réorganisation, la nouvelle réglementation de la JICA est entrée en vigueur à partir du 1<sup>er</sup> Octobre 2008. Sur la base de la loi et la décision du Gouvernement du Japonais (ci-après dénommé « le GDJ »), la JICA est devenue l'Agence d'Exécution de l'Aide Non-Remboursable au Développement Communautaire (Ci-après dénommée « l'ADC »).

L'Aide Non-Remboursable pourvoit le Gouvernement du Pays bénéficiaire (ci-après dénommé « le Bénéficiaire ») de fonds non-remboursables pour obtenir des installations, des équipements et services (services d'ingénierie et de transport de produits, etc.) pour le développement économique et social du pays suivant les principes en accord avec les lois et les règlements applicables du Japon. L'Aide Non-Remboursable ne fait pas de dons matériels en tant que tels.

#### 1. Procédures de l'ADC

L'ADC s'exécute selon les procédures suivantes :

Demande	Requête formulée par le pays bénéficiaire
Etude	Etude préparatoire conduite par la JICA
Evaluation et Approbation	Evaluation par le Gouvernement du Japon et la JICA, et Approbation par le Cabinet Ministériel du Japon
Détermination de la Mise en œuvre	Les Notes (Ci-après dénommés « E/N ») échangées entre les Gouvernements du Japon et du Pays bénéficiaire
Accord de Don (ci-après dénommé « l'A/D »)	Accord conclu entre la JICA et le Pays bénéficiaire
Exécution	Exécution du Projet sur la base de l'A/D

Tout d'abord, une demande ou requête pour un Projet ADC est soumise par le Bénéficiaire et examinée par le Gouvernement du Japon (le Ministère des Affaires



Etrangères) pour déterminer si le Projet est éligible pour l'ADC.

Deuxièmement, si la requête est jugée appropriée, le Gouvernement du Japon charge la JICA (Agence Japonaise de Coopération Internationale) de mener l'Etude Préparatoire, utilisant une firme japonaise de consulting.

Troisièmement, le Gouvernement du Japon et la JICA évaluent le Projet pour voir s'il convient à l'ADC du Japon, sur la base du rapport de l'Etude Préparatoire conduite par la JICA, et les résultats sont alors soumis au Cabinet ministériel du Japon pour approbation.

Quatrièmement, le Projet, une fois approuvé par le Cabinet, devient officiel avec les Echanges de Notes (E/N) signées par les Gouvernements du Japon et du Bénéficiaire.

Simultanément, l'Aide est rendu disponible par la conclusion de l'Accord de Don (Ci-après dénommé « A/D ») entre le Gouvernement du Pays bénéficiaire ou son autorité désignée et l'Agence Japonaise de Coopération Internationale (JICA). La JICA est désignée par le Gouvernement du Japon comme l'organisation responsable de l'exécution convenable de l'Aide.

L'Agent d'Approvisionnement (« l'Agent ») est désigné pour conduire les services d'approvisionnement des produits et services (y compris la gestion des fonds, la préparation des offres, les contrats et ainsi de suite) pour l'ADC au nom du Bénéficiaire. L'Agent est une entité impartiale et spécialisée et doit rendre les services suivant l'Accord d'Agent avec le Bénéficiaire. L'Agent est recommandé au Bénéficiaire par le Gouvernement du Japon et convenu par les deux Gouvernements dans le Procès Verbal Signé (« PV/S »).

## 2. Etude Préparatoire

### 1) Contenu de l'Etude

Le but de l'Etude Préparatoire (« l'Etude »), conduite par la JICA sur un Projet demandé (« le Projet »), est de produire un document de base nécessaire pour l'évaluation du Projet par le Gouvernement du Japon et la JICA. Le contenu de l'Etude est le suivant :

- (1) Confirmation du contexte, des objectifs et des avantages du Projet ainsi que la capacité institutionnelle des agences et communautés concernées du pays bénéficiaire, nécessaires à l'exécution du Projet.
- (2) Evaluation de l'opportunité du Projet à être exécuté suivant le système de l'Aide Non-Remboursable au Développement Communautaire d'un point de vue technique, social et économique ;
- (3) Confirmation des points convenus par les deux parties concernant le concept de

- base du Projet;
- (4) Préparation d'un concept sommaire du Projet;
  - (5) Estimation des coûts du Projet; et
  - (6) Préparation des documents de référence pour l'appel d'offres.

Le contenu de la requête originale par le Gouvernement du pays bénéficiaire n'est pas nécessairement approuvé dans sa forme initiale comme contenu du projet de l'Aide Non-Remboursable. Le concept de base du Projet est confirmé par rapport aux directives du système d'Aide Non-Remboursable du Japon.

La JICA demande au Gouvernement du pays bénéficiaire de prendre toutes les mesures nécessaires pour assurer son auto-dépendance dans l'exécution du Projet. De telles mesures doivent être garanties même si elles sortaient hors du cadre de la juridiction de l'organisation du pays bénéficiaire qui exécute en fait le Projet. Par conséquent, l'exécution du Projet est confirmée par toutes les organisations compétentes du pays bénéficiaire à travers les PV de Discussions.

## 2) Sélection des Consultants

Pour une bonne exécution de l'Etude, la JICA utilise les firmes de consultation reconnues. La JICA choisit les firmes sur la base des propositions soumises par celles intéressées. La firme choisie mènera une Etude Préparatoire et fera un rapport écrit, en se basant sur les termes de référence de la JICA. La firme de consultation utilisée pour l'Etude est désignée comme le Consultant japonais responsable (ci-après dénommé le « Consultant Japonais ») pour entreprendre la supervision des travaux de construction du Projet sous l'Agent afin de garder la consistance technique. Le Consultant japonais doit organiser une équipe compétente de supervision de la construction en utilisant les consultants locaux.

## 3) Résultat de l'Etude

Le rapport de l'Etude est révisé par la JICA. Après avoir confirmé l'opportunité et la faisabilité du Projet, la JICA demande au Gouvernement du Japon d'évaluer la réalisation du Projet.

## 3. Mise en œuvre de l'ADC après l'E/N et l'A/D

### 1) Exchange de Notes (E/N) et Accord de Don (A/D)

Une fois que le Projet est approuvé par le Cabinet des Ministres du Japon, l'E/N est

signée entre le GDJ et le Gouvernement du pays bénéficiaire avec promesse d'assistance, suivi de la conclusion de l'A/D entre la JICA et le Gouvernement du pays bénéficiaire pour définir les différents articles nécessaires à l'exécution du Projet, tels que les conditions de paiement, les responsabilités du Gouvernement du pays bénéficiaire, et les conditions d'approvisionnement.

## 2) Détails de procédure

Les détails de procédure sur les produits et services d'approvisionnement sous l'ADC seront convenus entre le bénéficiaire et la JICA au moment de la signature de l'A/D. Les points essentiels à convenir sont résumés comme suit :

- a) La JICA exécute le Don en payant le montant convenu dans l'E/N et prête une attention particulière pour assurer la responsabilité financière sur l'utilisation effective et convenable du Don pour le Projet.
- b) Les produits et services doivent être obtenus et fournis en accord avec les « Directives d'Approvisionnement de l'Aide au Développement du Japon (Type I-C) ».
- c) Le Gouvernement du pays bénéficiaire doit conclure un contrat de travail avec l'Agent.
- d) Le Gouvernement du pays bénéficiaire doit désigner l'Agent comme le représentant agissant au nom du Gouvernement du pays bénéficiaire pour tous les transferts de fonds à l'Agent.

## 3) Les Points Focaux des « Directives d'Approvisionnement de l'Aide Non-Remboursable du Japon (Type I-C) » de la JICA

### a) L'Agent

L'Agent est une entité qui fournit des services d'approvisionnement de produits et services au nom du Bénéficiaire selon l'Accord d'Agent avec le Bénéficiaire. L'Agent est recommandé au Bénéficiaire par le Gouvernement du Japon et convenu entre les deux Gouvernements en PV/S.

### b) Accord d'Agent

Le Bénéficiaire doit conclure un Accord d'Agent, dans les deux (2) mois suivant la date d'entrée en vigueur de l'A/D, en accord avec le PV/S. L'étendue des services de l'Agent doit être clairement spécifiée dans l'Accord d'Agent.

### c) Approbation de l'Accord d'Agent



L'Accord d'Agent qui est préparé en deux documents identiques, doit être soumis à la JICA par le Bénéficiaire à travers l'Agent. La JICA confirme si l'Accord d'Agent est conclu en conformité avec l'E/N, l'A/D, et les Directives d'Approvisionnement de l'Aide Non-Remboursable au Développement Communautaire du Japon, et approuve l'Accord. L'Accord d'Agent qui est conclu entre le Bénéficiaire et l'Agent doit être effective après l'approbation sous forme écrite par la JICA.

d) Méthodes de paiements

L'Accord d'Agent doit stipuler que « pour tous les transferts de fond à l'Agent, le bénéficiaire désignera l'Agent pour agir au nom du bénéficiaire et émettra l'Autorisation de Déboursement Global « l'ADG ») pour faire le transfert de fond (Avances) du Compte d'Approvisionnement au Compte du Bénéficiaire. »

L'Accord d'Agent doit clairement préciser que le paiement à l'Agent doit se faire en yen japonais à partir des Avances et que le paiement final à l'Agent doit être fait lorsque le Montant total Restant est inférieur à 3% de l'Aide et de ses intérêts courus sans les frais de l'Agent.

e) Produits et Services Eligibles pour l'Approvisionnement

Les Produits et services à procurer doivent être choisis parmi ceux définis dans l'A/D.

f) Firme de Consultants

En principe, la firme de consultants (personnes physiques ou personnes juridiques, y compris des universités, ONGs et d'autres avec expertise et expériences) qui seront recrutés pour l'exécution de la conception détaillée et la supervision des travaux pour le Projet/ le Programme, pourront être des nationaux japonais recommandés par la JICA pour assurer la cohérence technique avec l'étude préparatoire et les autres études concernées et réalisées avant la signature de l'A/D.

g) Entreprises de Construction & de Fourniture

En principe, seuls les Entreprises de travaux de construction de nationalité du pays bénéficiaire pourraient contracter en tant qu'entreprises de construction à condition que l'entreprise satisfasse les conditions spécifiées dans les dossiers d'appel d'offre.

h) Méthode d'Approvisionnement



Annexe 3-5

Au moment de la mise en œuvre de l'approvisionnement, une attention particulière doit être accordée afin d'éviter une injustice entre les soumissionnaires éligibles pour l'approvisionnement des produits et services. A cette fin, une soumission compétitive devrait être employée en principe.

i) Dossiers d'Appel d'Offre

Les dossiers d'appel d'offre devraient contenir toutes les informations nécessaires pour permettre aux soumissionnaires de préparer des offres valides pour les services et produits à être procuré par l'ADC. Les droits et obligations du Bénéficiaire, de l'Agent et des Fournisseurs de produits et services doivent être stipulé dans les dossiers d'appel d'offre préparés par l'Agent. En plus de cela, les dossiers d'appel d'offre seront préparés en consultation avec le Bénéficiaire.

j) Examen de Pré-qualification des Soumissionnaires

L'Agent peut mener un examen de pré-qualification des soumissionnaires avant l'offre de sorte à ce que l'appel d'offre soit étendu seulement aux entreprises éligibles. L'examen de pré-qualification devra être fait seulement en considérant si tous les soumissionnaires potentiels ont la capacité de réaliser les dits-contrats sans faille. Dans ce cas, les points suivants devraient être pris en compte :

- (1) Expérience et Résultats passés obtenus dans des contrats similaires ;
- (2) Fondement des biens et propriété ou la crédibilité financière; et
- (3) Existence de bureaux, etc. à spécifier dans les dossiers d'appel d'offre.

k) Evaluation de l'Offre

L'évaluation de l'offre devrait être faite sur la base des conditions spécifiées dans les dossiers d'appel d'offres. Ces offres, conformes en substance aux spécifications techniques, et répondant aux autres stipulations des dossiers de l'offre, seront jugées en principe sur la base des prix soumis, et le soumissionnaire qui offrira le moindre coût sera attributaire.

L'Agent doit préparer un rapport détaillé d'évaluation de l'offre clarifiant les raisons du choix de l'offre retenue et la disqualification des autres et le soumettre au bénéficiaire pour obtenir sa confirmation avant de signer le contrat avec l'attributaire. L'Agent doit faire un rapport détaillé d'évaluation des offres, avant toute décision finale d'attribution, donnant les raisons d'acceptation ou de rejet des offres.

l) Approvisionnement supplémentaire

Si l'on découvre un approvisionnement supplémentaire après soumission compétitive et/ou sélective et/ou une négociation directe de contrat, et que le Bénéficiaire aimerait un approvisionnement supplémentaire, l'Agent est autorisé de faire un approvisionnement supplémentaire, en suivant les points mentionnés ci-dessous :

(1) Approvisionnement des mêmes produits et services

Lorsque les produits et services à obtenir en plus sont identiques à l'offre initiale et qu'une soumission compétitive est jugée désavantageuse, l'approvisionnement supplémentaire peut être exécuté par un contrat direct avec l'attributaire de l'offre initiale.

(2) Autres Approvisionnements

Lorsque les produits et services autres que ceux mentionnés ci-dessus en (1) doivent être obtenus, l'approvisionnement devrait être exécuté à travers une soumission compétitive. Dans ce cas, les produits et services pour l'approvisionnement supplémentaire doivent être choisis parmi ceux en accord avec l'E/N et l'A/D.

m) Conclusion des Contrats

Afin de procurer des produits et services en accord avec l'A/D, l'Agent doit conclure des contrats avec les entreprises choisies par soumission ou autres méthodes.

n) Termes de Paiement

Le contrat doit clairement spécifier les termes de paiement. L'Agent doit faire le paiement à partir des « Avances », contre dépôt de documents nécessaires par l'Entreprise sur la base des conditions spécifiées dans le contrat, après que les obligations de l'Entreprise aient été accomplies. Lorsque les services font l'objet d'approvisionnement, l'Agent peut payer en avance une certaine portion du montant du contrat aux entreprises à condition que de telles entreprises soumettent la garantie d'avance de paiement, égale au montant du paiement de l'avance par l'Agent.

4) Principales Mesures à prendre par le Gouvernement du Pays bénéficiaire

(a) Dans l'exécution d'un Projet d'Aide Non-Remboursable, il est requis au pays bénéficiaire d'entreprendre les mesures nécessaires suivantes :

- (1) Obtenir des superficies de terrain nécessaires pour la mise en œuvre du Projet et déblayer les sites ;
  - (2) Fournir des installations pour la distribution de l'électricité, de l'eau et le drainage et autres installations accessoires nécessaires à la mise en œuvre du Projet hors du site en référence au point (a) ci-dessus ;
  - (3) Assurer le dédouanement rapide et assister au transport à l'intérieur du pays bénéficiaire et en cela assister au transport interne des produits ;
  - (4) S'assurer que les taxes douanières, les taxes internes et autres prélèvements fiscaux qui pourraient faire l'objet d'imposition dans le pays bénéficiaire pour l'achat des composantes aussi bien que l'emploi de l'Agent soient exonérées/supportées par son autorité désignée sans utiliser l'Aide et ses intérêts courus ;
  - (5) Accorder aux nationaux japonais et/ou aux nationaux de pays tiers, y compris ceux qui sont employés par l'Agent, dont les services seront nécessaires pour la fourniture des composantes, les facilités nécessaires pour leurs entrées et séjours dans le pays bénéficiaire, afin qu'ils puissent effectuer leur travail. (Le terme "nationaux" lorsque utilisé dans l'A/A signifie les personnes physiques japonaises ou les personnes morales japonaises contrôlées par des personnes physiques japonaises pour les nationaux japonais, et les personnes physiques ou morales des pays tiers pour les nationaux des pays tiers.);
  - (6) S'assurer que les installations et les composantes sont entretenues et utilisées convenablement et efficacement pour la réalisation du Projet;
  - (7) Supporter tous les frais, autres que ceux couverts par l'Aide et ses intérêts courus, nécessaires à la réalisation du Projet; et
  - (8) Accorder une pleine considération sociale et environnementale dans la réalisation du Projet.
- (b) Sur demande de la JICA, le bénéficiaire doit fournir à la JICA toutes les

N. Gu

informations nécessaires sur le Projet.

(c) Par rapport à l'expédition et l'assurance maritime des produits procurés par le Projet, le Bénéficiaire doit s'abstenir d'imposer des restrictions de tout genre qui pourraient empêcher une libre et juste compétition entre les compagnies d'assurance.

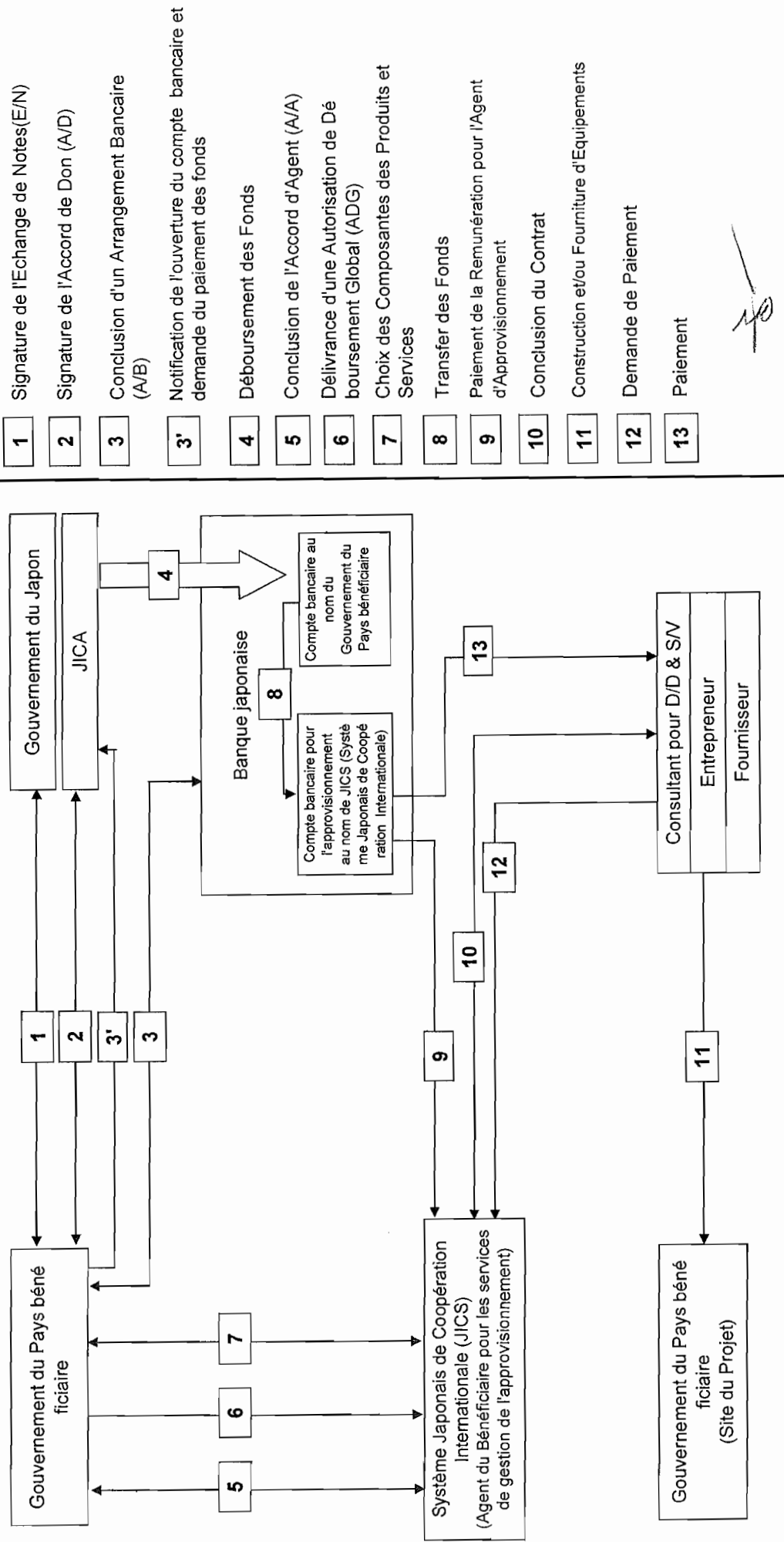
(d) les produits procurés par le Projet ne doivent pas être exportés ou réexportés à partir du pays bénéficiaire.

(e) le Bénéficiaire doit s'assurer qu'aucun membre du Gouvernement n'entreprenne aucune part du travail des nationaux japonais et/ou du travail des nationaux de tiers pays pour l'achat des composantes.





ANNEXE 4 Mouvement du fonds pour la mise en œuvre de l'Aide financière non remboursable au développement communautaire du Gouvernement du Japon.



*NSW*

## ANNEXE 5 Principales mesures à prendre par chaque gouvernement

No.	Eléments	à couvrir par le Don	à couvrir par la partie bénéficiaire
1	Obtenir une superficie de terrain suffisante		●
2	Démolition des installations, défrichage, mise à niveau et récupération du terrain si nécessaire		●
3	Construction de portails et des clôtures autour du terrain (si nécessaire)		●
4	Construction de parc de stationnement	N/A	N/A
5	Construction de la route		
	1) A l'intérieur du site	●	
	2) A l'extérieur du site		●
6	Construction de bâtiment	●	
7	Fournir les installations pour la distribution d'électricité, l'eau courante, l'égout et les autres installations accessoires :		
	1) Electricité (si l'électricité publique est disponible dans le site)		
	a. La ligne de distribution jusqu'au site		●
	b. Le câblage de branchement et le câblage interne sur le site	●	
	c. Le circuit principal et transformateur	●	
	2) Alimentation en eau (si l'eau de ville est disponible dans le site)		
	a. Conduite principale d'eau courante urbaine jusqu'au site		●
	b. Système d'alimentation sur le site (réservoir de réception et château d'eau)	●	
	3) Drainage		
	a. Conduite principale urbaine d'égout (pour évacuer l'eau de pluie, les eaux d'égout etc. du site)	N/A	N/A
	b. Système d'égout sur le site (pour les eaux d'égout, les déchets ordinaires, l'eau de pluie etc.)	(●)	
	4) Alimentation en gaz		
	a. Conduite principale de gaz jusqu'au site	N/A	N/A
	b. Système d'alimentation sur le site	N/A	N/A
	5) Téléphone		
	a. Ligne téléphonique de jonction jusqu'au répartiteur d'entrée (MDF) du bâtiment	N/A	N/A
	b. MDF et extension après le répartiteur	N/A	N/A
	6) Mobilier et équipement		
	a. Meuble général		●
	b. Equipements du projet	●	
8	Prise en charge des commissions de la banque japonaise pour les services bancaires basés sur les arrangements bancaires (A/B):		●
9	Assurer le dédouanement rapide et apporter une assistance concernant le transport à l'intérieur du pays bénéficiaire ainsi que le transport interne des produits		●
10	Assurer que les taxes douanières, les taxes internes et d'autres prélèvements fiscaux qui pourraient faire l'objet d'imposition dans le pays bénéficiaire pour l'achat des composantes aussi bien que l'emploi de l'Agent soient exonérés/supportés par son autorité désignée sans utiliser l'Aide et ses intérêts courus.		●
11	Accorder aux nationaux japonais et/ou aux nationaux de pays tiers, y compris ceux qui sont employés par l'Agent, dont les services seront nécessaires pour la fourniture des composantes, les facilités nécessaires pour leurs entrées et séjours dans le pays bénéficiaire, afin qu'ils puissent effectuer leur travail. (Le terme "nationaux" lorsque utilisé dans l'A/D signifie les personnes physiques japonaises ou les personnes morales japonaises contrôlées par des personnes physiques japonaises pour les nationaux japonais, et les personnes physiques ou morales des pays tiers pour les nationaux des pays tiers.);		●
12	Assurer que les installations et les composantes sont entretenues et utilisées convenablement et efficacement pour la réalisation du Projet		●
13	Supporter tous les frais, autres que ceux couverts par le Don et ses intérêts courus, nécessaires à la réalisation du Projet.		●
14	Accorder une pleine considération sociale et environnementale dans la réalisation du Projet.		●

(A/B : Arrangement Bancaire, A/D : Accord de Don)

(N/A : Non Applicable)



*Handwritten signature or mark.*

ベナン共和国第五次小学校建設計画準備調査

現地調査 I (概略設計調査)

協議議事録

ベナン共和国政府より提出された要請に基づき、日本政府は「第五次小学校建設計画」(以下「プロジェクト」と称する)に関する協力準備調査を行うことを決定し、同調査を独立行政法人国際協力機構(以下「JICA」と称する)が実施することとなった。

JICAは、ベナン共和国へ客員国際協力専門員 宮田伸昭を団長とする概略設計調査団(以下「調査団」と称する)を派遣した。調査団は2011年10月24日より2011年11月24日まで同国に滞在し調査を実施する。

協議および現地調査の結果、両者は付属書に記載された主要な項目を確認した。

ベナン共和国ポルトノボ市 2011年11月23日

---

宮田 伸昭

団長

概略設計調査団

独立行政法人国際協力機構

日本

---

Gilles Théophile YEKPON

官房長官

幼少・初等教育省

ベナン共和国

## 付属書

### 1. プロジェクトの目的

本プロジェクトの目的は、学校施設の増設・建替え、及び家具の供与を通して、ドンガ県及びアタコラ県における公立小学校の教育環境を改善することである。

### 2. 相手国実施責任機関

2-1. 本プロジェクトの責任機関は、ベナン国幼少・初等教育省である。

2-2. 本プロジェクトの実施機関は、ベナン国計画・予測局が行う。

### 3. 要請内容

協議を通じて、両者は以下に示す内容を最終的な要請内容として確認した。ただし、最終的な協力内容は日本帰国後の解析を通じて決定され、要請のあった全ての内容が必ずしも本プロジェクトの協力対象とはならないことをベナン国側は了解した。

#### 3-1. 対象校

本プロジェクトの対象地域はドンガ県及びアタコラ県であり、調査対象校は別紙 1 に示される 60 校である。また、コンサルタントによるサイト調査および日本帰国後の解析を踏まえて、別紙 2 に示される除外基準案により絞込みを行い、さらに別紙 2 の優先基準案に従って優先順位を決定する。最終的な協力の規模については、日本国政府により決定される。

#### 3-2. 施設コンポーネント

平屋建ての教室（造り付け戸棚つき）、校長室、倉庫（造り付け収納棚つき）、便所棟を本プロジェクトの施設コンポーネントとする。

#### 3-3. 機材コンポーネント

教室用家具（児童用机／椅子、教員机・椅子、移動式黒板）及び校長室用家具（机椅子、戸棚、会議用椅子）を本プロジェクトの基本コンポーネントとする。教育機材や運営・維持管理用機材は原則コンポーネントの対象外とするが、余剰金が発生した場合には対象とすることを検討する。

#### 3-4. ソフトコンポーネント

ベナン国側の要請を受け、本調査を踏まえて施設建設後の維持管理に係るソフトコンポーネントの必要性を確認し、その後の日本における国内解析を踏まえてその要否について判断する。

### 4. 日本のコミュニティ開発支援無償資金協力制度

ベナン国側は、別紙 3 及び別紙 4 に記載されている日本のコミュニティ開発支援無償資金協力制度について十分に理解し、本制度のもと本プロジェクトを実施することに合意した。また、両者は、本プロジェクト実施の際には別紙 5 に記載されているとおりの必要な措置を行う。

## 5. 免税措置

ベナン国は本プロジェクト実施のため、別紙5の第9項及び10項に関し、調達代理機関、本邦コンサルタント、及び現地企業に係る業務、業務に要する物品の購入、及び契約行為に対する必要な免税措置を講じることを確約した。

## 6. 今後の調査スケジュール \*日本の予算計画に応じて変更可能性あり。

6-1. ベナン国での現地調査結果を踏まえ、調査団は2012年5月頃まで日本で国内解析Iを行う。

JICAは、2012年5~6月頃にベナン国へ準備調査報告書(案)及び概略事業費(調達代理機関費含む)説明調査団を派遣する。

6-3. 日本での国内解析IIの後、調査団は2012年11月頃に入札関連書類の説明のためベナン国を訪問する。

## 7. その他協議事項

### 7-1. コスト縮減について

日本側は限られた無償資金協力事業予算を効果的に利用するために、建設される小学校の仕様、資機材の材質・調達方法、工程計画等の設計を通して、品質の保持に配慮しつつ建設コストの縮減を進めることを説明し、ベナン国側も認識を共有した。

### 7-2. サイトの土地所有権証明書

ベナン国側は、別紙1に挙げられたサイトの土地所有権証明書を2012年4月末までに調査団もしくはJICAベナン支所に提出することを確約した。

### 7-3. ベナン国側が実施する主要負担事項

ベナン国側は、別紙5に記載された主要負担事項に係る予算を確保し、その適切な履行について確約した。ベナン国側は、本プロジェクトの円滑な実施のため、予定されたスケジュールに遅延が生じないように、主要負担事項を実施することを約束した。

### 7-4. 教員の配置

ベナン国側は、本プロジェクトにより建設される学校に必要な教職員の配置を確保することを確約した。

### 7-5. グループ校の扱い

本事業では教室数のニーズ算出はグループ校全体を考慮するものとする。ただし、グループ校内での新設校は対象としない。これを踏まえ、ベナン側は速やかに要請書を調査団もしくはJICAベナン支所に提出することを合意した。

#### 7-6. 建設中断中の堅固教室の扱い

本事業の計画教室数算出の際には、建設中断中の堅固教室はベナン側で完成させるものとして扱うことで合意した。

別紙 1 : 調査対象校リスト

別紙 2 : 除外基準及び優先基準案

別紙 3 : コミュニティ開発支援無償資金協力制度概要

別紙 4 : コミュニティ開発支援無償資金協力における資金の流れ

別紙 5 : 被援助国に求められる主な措置

## 別紙1 調査対象校リスト

学校番号	県	コミューン	地区	学校
DEPARTTEMENT DE L'ATACORA				
1	ATACORA	BOUKOUMBE Centre	BOUKOUMBE	KOUSOUCOINGOU/B
2	ATACORA	BOUKOUMBE	BOUKOUMBE	KOUPAGOU I
3	ATACORA	BOUKOUMBE	BOUKOUMBE	KOUTCHAGOU/B
4	ATACORA	BOUKOUMBE	MANTA	KOKOUANGOU
5	ATACORA	BOUKOUMBE	KOUSOUCOINGOU	KOUWETAKPANGOU
6	ATACORA	COBLY	COBLY	TOUGA
7	ATACORA	COBLY	COBLY	NANAGADE/B
8	ATACORA	COBLY	KOUNTORI	OUKPINTIHOUN
9	ATACORA	COBLY	KOUNTORI	SAKOUNTIENOU
10	ATACORA	KEROU	KEROU	GAMMON-KINNIN/B
11	ATACORA	KEROU	KEROU	GOUGNENOU-GANDO
12	ATACORA	KEROU	KEROU	KARIGOUROU/B
13	ATACORA	KOUANDE	GUILMARO	GUILMARO/B
14	ATACORA	KOUANDE	KOUANDE	SEKOGOUROU/B
15	ATACORA	KOUANDE	OROUKAYO	OROUKAYO/C
16	ATACORA	KOUANDE	KOUANDE	EUC/C KOUANDE
17	ATACORA	MATERI	DASSARI	TETONGA/B
18	ATACORA	MATERI	MATERI	MATERI/D
19	ATACORA	MATERI	GOUANDE	GOUANDE/C
20	ATACORA	MATERI	TANTEGA	KOUMPEHOUN
21	ATACORA	MATERI	MATERI	YONDISSERI/B
22	ATACORA	MATERI	TCHANHOUN-COSSI	TCHANHOUN-COSSI/A
23	ATACORA	MATERI	GOUANDE	TCHARIKOUANGOU
24	ATACORA	NATITINGOU	KOTOPOUNGA	KOTOPOUNGA/B
25	ATACORA	NATITINGOU	KOTOPOUNGA	BOKRONA-POUYA
26	ATACORA	NATITINGOU	1ER ARRONDISSEMENT	YOKOSSI/C
27	ATACORA	NATITINGOU	1ER ARRONDISSEMENT	OURBOUGA/C
28	ATACORA	NATITINGOU	2EME ARRONDISSEMENT	BORIYOURE/C
29	ATACORA	PEHUNCO	PEHUNCO	PEHUNCO/D
30	ATACORA	PEHUNCO	PEHUNCO	SINNAWOURAROU/B
31	ATACORA	PEHUNCO	PEHUNCO	GBERASSON/B

学校番号	県	コミュニティ	地区	学校
32	ATACORA	TANGUIETA	TAIAKOU	KOUTCHOUTCHOUGOU
33	ATACORA	TANGUIETA	TANONGOU	SANGOU
34	ATACORA	TANGUIETA	TANGUIETA	MAMOSSA
35	ATACORA	TANGUIETA	TAIAKOU	OUANKOU
36	ATACORA	TOUCOUNTOUNA	TOUCOUNTOUNA	TOUCOUNTOUNA/D
	DEPARTEMENT DE LA DONGA			
37	DONGA	BASSILA	ALEDJO	IYO
38	DONGA	BASSILA	BASSILA	BARIKINI
39	DONGA	BASSILA	BASSILA	KPREKETE/B
40	DONGA	BASSILA	BASSILA	KONIN
41	DONGA	BASSILA	ALEDJO	IGUL-AGAHOU
42	DONGA	COPARGO	PABEGOU	TOMI
43	DONGA	COPARGO	PABEGOU	GNAMBAGA
44	DONGA	DJOUGOU	PATARGO	NIMA (EX PARTAGO-QUARTIER)
45	DONGA	DJOUGOU	1ER ARRONDISSEMENT	GAH/B
46	DONGA	DJOUGOU	BARIENOU	TOKOTOKO/B
47	DONGA	DJOUGOU	3EME ARRONDISSEMENT	BATOULOU/D
48	DONGA	DJOUGOU	1ER ARRONDISSEMENT	SASSIROU/B
49	DONGA	DJOUGOU	3EME ARRONDISSEMENT	BAPARAPEI/D
50	DONGA	DJOUGOU	BOUGOU	BOUGOU/A
51	DONGA	DJOUGOU	ONKLOU	BAKOU/B
52	DONGA	DJOUGOU	2EME ARRONDISSEMENT	DJAKPINGOU/B
53	DONGA	DJOUGOU	2EME ARRONDISSEMENT	TEPABA/D
54	DONGA	DJOUGOU	PATARGO	MONMONGOU
55	DONGA	DJOUGOU	KOLOKONDE	BAKOUFOWA/B
56	DONGA	DJOUGOU	BARIENOU	AKEKEROU
57	DONGA	DJOUGOU	2EME ARRONDISSEMENT	KILIR/D
58	DONGA	OUAKE	SEMERE II	AGUE-GARBA
59	DONGA	OUAKE	SEMERE I	ATCHAKITAME
60	DONGA	OUAKE	SEMERE I	ATCHANKPA-KOLAH



## 別紙-2 計画対象除外基準案、優先順位案および計画教室数算定案

### 1. 計画対象除外基準案

(1) 以下の条件に該当する学校は、計画から除外することとする。

#### 計画対象除外基準案

- 1) 教室建設のニーズがない学校
- 2) 他ドナー等による施設建設計画がある学校
- 3) 土地の所有権、または使用权を証明する書類のない学校
- 4) 教室建設のために十分な敷地が確保できない学校
- 5) 不法占拠の家屋等が存在し、建設に支障のある学校
- 6) 年間を通じて建設地への車輛乗り入れ及び工事資機材搬入に支障のある学校
- 7) 治安面で問題のある学校
- 8) 洪水や崖崩れ等の自然災害の虞のある学校
- 9) その他

(2) サイト調査の結果、以下の6サイトは6)の理由により計画から除外することとする。

・悪路のため工事車輛乗り入れが困難な4サイト

5 Kouetakouangou / 32 Koutchoutchougou / 35 Ouankou / 41 Igui-Agahou

・途中の橋が崩壊し工事車輛乗り入れが困難な2サイト

40 Konin / 42 Tomi

なお、除外される学校は、上記基準に照らして日本国内解析の結果、および計画の進捗状況により追加されることもありうる。

### 2. 優先順位案

要請校だけでなくグループ校全体として優先順位を付ける。

(1) 次の計算式で得られる数値の高い学校を優先順位の上位とする。全てグループ校全体の数値を適用する。

$$\text{堅固教室に収容できない児童数} = \text{児童数} - (\text{既存堅固教室数} \times 50)$$

(2) もし数値が同じ場合、既存堅固教室数が少ない学校を上位とする。

(3) 雨季における車両アクセスが困難なサイトについては、施工効率が悪いいため、優先順位付けの条件として考慮する。

(4) 基準を満たす要請校全てを考慮した後、他の学校を本計画において建設することもできる。その場合、調査団がニーズを確認したグループ校内の他校のみが対象となる。

注) 堅固教室：

政府やドナーによって建設された鉄筋コンクリート、コンクリートブロック、レンガ造など、十分継続使用可能と判断される教室。建設が中断した未完成教室もこれに含む。

堅固教室とみなさない教室：

パイオット、アパタム、バンコ造等、標準設計に適合しない教室。

### 3. その他

(1) 1 教室あたりの児童数および最大教室数。

1 教室あたり 50 人として計算し 1 校当り最大 6 教室になるように計画する。

(2) サイトの土地面積による制限

建設用地の面積が不十分な場合等は、可能な範囲内で教室数を確保する。

## ANNEX 3

### **Grant Aid for Community Empowerment** **of the Government of Japan** (Provisional)

The Government of Japan (hereinafter referred to as “the GOJ”) is implementing the organizational reforms to improve the quality of ODA operations, and as a part of this realignment, the new JICA law was entered into effect on October 1, 2008. Based on the law and the decision of the Government of Japan (hereinafter referred to as “the GOJ”), JICA has become the executing agency of Grant Aid for Community Empowerment (hereinafter referred to as “GACE”).

The Grant Aid provides the government of a recipient country (hereinafter referred to as “the Recipient”) with non-reimbursable funds to procure the facilities, equipment and services (engineering services and transportation of the products, etc.) for economic and social development of the country under principles in accordance with the relevant laws and regulations of Japan. The Grant Aid is not supplied through the donation of materials as such.

#### 1. Procedures for GACE

GACE is executed through the following procedures.

Application	Request made by a recipient country
Survey	Preparatory Survey conducted by JICA
Appraisal & Approval	Appraisal by the Government of Japan and JICA, and Approval by the Japanese Cabinet
Determination of Implementation	The Notes (hereinafter referred to as “E/N”) exchanged between the Governments of Japan and the recipient country
Grant Agreement (hereinafter referred to as “the G/A”)	Agreement concluded between JICA and a recipient country
Implementation	Implementation of the Project on the basis of the G/A

Firstly, the application or request for a GACE Project submitted by the Recipient is examined by the Government of Japan (the Ministry of Foreign Affairs) to determine whether or not it is eligible for GACE.

Secondly, if the request is deemed appropriate, the Government of Japan entrusts

JICA (Japan International Cooperation Agency) to conduct the Preparatory Survey, using a Japanese consulting firm.

Thirdly, the Government of Japan and JICA appraise the Project to see whether or not it is suitable for Japan's GACE, based on the Preparatory Survey report prepared by JICA, and the results are then submitted to the Japanese Cabinet for approval.

Fourthly, the Project, once approved by the Cabinet, becomes official with the Exchange of Notes (E/N) signed by the Governments of Japan and the Recipient.

Simultaneously, the Grant will be made available by concluding a Grant Agreement (hereinafter referred to as "G/A") between the Government of the Recipient Country or its designated authority and the Japan International Cooperation Agency (JICA). JICA is designated by the Government of Japan as an organization responsible for the proper execution of the Grant.

Procurement Agent ("the Agent") is designated to conduct the procurement services of products and services (including fund management, preparing tenders, contracts and so on) for GACE on behalf of the Recipient. The Agent is an impartial and specialized organization and shall render services according to the Agent Agreement with the Recipient. The Agent is recommended to the Recipient by the Government of Japan and agreed between the two Governments in the Agreed Minutes ("A/M").

## 2. Preparatory Survey

### 1) Contents of the Survey

The aim of the Preparatory Survey ("the Survey"), conducted by JICA on a requested Project ("the Project"), is to provide a basic document necessary for the appraisal of the Project by the Government of Japan and JICA. The contents of the Survey are as follows:

- (1) Confirmation of the background, objectives, and benefits of the Project and also institutional capacity of agencies and communities concerned of the recipient country necessary for the Project's implementation;
- (2) Evaluation of the appropriateness of the Project to be implemented under the Grant Aid Scheme for Community Empowerment from a technical, social and economic point of view;
- (3) Confirmation of items agreed upon by both parties concerning the basic concept of the Project;
- (4) Preparation of an outline design of the Project ;
- (5) Estimation of cost for the Project ; and
- (6) Preparation of reference documents for tender.

The contents of the original request by the Government of the recipient country are not necessarily approved in their initial form as the contents of the Grant Aid project. The Outline Design of the Project is confirmed considering the guidelines of Japan's Grant Aid scheme.

JICA requests the Government of the recipient country to take whatever measures are necessary to ensure its self-reliance in the implementation of the Project. Such measures must be guaranteed even though they may fall outside of the jurisdiction of the organization in the recipient country actually implementing the Project. Therefore, the implementation of the Project is confirmed by all relevant organizations of the recipient country through the Minutes of Discussions.

## 2) Selection of Consultants

For smooth implementation of the Survey, JICA uses registered consulting firms. JICA selects firms based on the proposals submitted by interested firms. The firms selected carry out a Preparatory Survey and write a report, based upon terms of reference set by JICA. The consulting firms used for the Survey shall be nominated as a responsible Japanese consultant (hereinafter referred to as “the Japanese Consultant”) for proceeding construction supervision for the Project under the Agent in order to maintain technical consistency. The Japanese Consultant shall organize an appropriate construction supervision team utilizing local consultants.

## 3) Result of the Survey

The Report on the Survey is reviewed by JICA. The appropriateness and feasibility of the Project is confirmed, JICA recommends the GOJ to appraise the implementation of the Project.

## 3. Implementation of GACE after the E/N and G/A

### 1) Exchange of Notes (E/N) and Grant Agreement (G/A)

After the project approved by the Cabinet of Japan, the E/N will be signed between the GOJ and the Government of the recipient country to make a pledge for assistance, which is followed by the conclusion of the G/A between JICA and the Government of the recipient country to define the necessary articles to implement the Project, such as payment conditions, responsibilities of the Government of the recipient country, and procurement conditions.

### 2) Procedural details

Procedural details on the procurement of products and services under GACE will be agreed upon between the Recipient and JICA at the time of the signing of the G/A. Essential points to be agreed upon are outlined as follows:

- a) JICA executes the Grant by making payments of the amount agreed upon in the E/N and pays serious attention to ensure the accountability on proper and effective use of the Grant for the Project.
- b) The products and services shall be procured and provided in accordance with “Procurement Guidelines of Japan’s Grant Aid (Type I – C)”.
- c) The Government of the recipient country shall conclude an employment contract with the Agent.
- d) The Government of the recipient country shall designate the Agent as the representative acting in the name of the Government of the recipient country concerning all transfers of funds to the Agent.

### 3) Focal Points of JICA’s “Procurement Guidelines of Japan’s Grant Aid (Type I – C)”

#### a) The Agent

The Agent is the organization which provides procurement services of products and services on behalf of the Recipient according to the Agent Agreement with the Recipient. The Agent is recommended to the Recipient by the Government of Japan and agreed between the two Governments in the A/M.

#### b) Agent Agreement

The Recipient shall conclude an Agent Agreement, within two (2) months after the date of entry into force of the G/A, in accordance with the A/M. The scope of the Agent’s services shall be clearly specified in the Agent Agreement.

#### c) Approval of the Agent Agreement

The Agent Agreement, which is prepared as two identical documents, shall be submitted to JICA by the Recipient through the Agent. JICA confirms whether or not the Agent Agreement is concluded in conformity with the E/N, the G/A, and the JICA’s Procurement Guidelines of Japan’s Grant Aid for Community Empowerment, and approves the Agreement. The Agent Agreement concluded between the Recipient and the Agent shall become effective after the approval by JICA in a written form.

#### d) Payment Methods

The Agent Agreement shall stipulate that "regarding all transfers of the fund to the

Agent, the Recipient shall designate the Agent to act on behalf of the Recipient and issue a Blanket Disbursement Authorization ("the BDA") to conduct the transfer of the fund (Advances) to the Procurement Account from the Recipient Account."

The Agent Agreement shall clearly state that the payment to the Agent shall be made in Japanese yen from the Advances and that the final payment to the Agent shall be made when the total Remaining Amount becomes less than 3 % of the Grant and its accrued interest excluding the Agent's fees.

e) Products and Services Eligible for Procurement

Products and services to be procured shall be selected from those defined in the G/A.

f) Consultant Firms

In principle, the consultants (physical persons or juridical persons including universities, NGOs, and others with expertise and experience) that will be employed to do detail design and supervise the work for the Project / the Programme may be Japanese nationals recommended by JICA, for the purpose of maintaining technical consistency with the preliminary examination and other related studies, conducted prior to the signing of the G/A.

g) Contractor & Supplier Firms

In principle, Firms for construction works of only the recipient country's nationality could be contracted as construction contractors as long as the firm satisfies the conditions specified in the tender documents. Besides, Firms of any nationality could be contracted as suppliers as long as the firm satisfies the conditions specified in the tender documents.

h) Method of Procurement

In implementing procurement, sufficient attention shall be paid so that there is no unfairness among tenderers who are eligible for the procurement of products and services. For this purpose, competitive tendering shall be employed in principle.

i) Tender Documents

The tender documents should contain all information necessary to enable tenderers to prepare valid offers for the products and services to be procured by GACE. The rights and obligations of the Recipient, the Agent and the Suppliers of the products and services should be stipulated in the tender documents to be prepared by the

Agent. Besides this, the tender documents shall be prepared in consultation with the Recipient.

j) Pre-qualification Examination of Tenderers

The Agent may conduct a pre-qualification examination of tenderers in advance of the tender so that the invitation to the tender can be extended only to eligible firms. The pre-qualification examination should be performed only with respect to whether or not the prospective tenderers have the capability of accomplishing the contracts concerned without fail. In this case, the following points should be taken into consideration:

- (1) Experience and past performance in contracts of a similar kind;
- (2) Property foundation or financial credibility; and
- (3) Existence of offices, etc. to be specified in the tender documents.

k) Tender Evaluation

The tender evaluation should be implemented on the basis of the conditions specified in the tender documents. Those tenders, which substantially conform to the technical specifications, and are responsive to other stipulations of the tender documents, shall be judged in principle on the basis of the submitted price, and the tenderer who offers the lowest price shall be designated as the successful tenderer.

The Agent shall prepare a detailed tender evaluation report clarifying the reasons for the successful tender and the disqualification and submit it to the Recipient to obtain confirmation before concluding the contract with the successful tenderer. The Agent shall, before a final decision on the awards is made, furnish JICA with a detailed evaluation report of tenders, giving the reasons for the acceptance or rejection of tenders.

l) Additional Procurement

If there is an additional procurement fund after competitive and / or selective tendering and / or direct negotiation for a contract, and the Recipient would like an additional procurement, the Agent is allowed to conduct an additional procurement, following the points mentioned below:

(1) Procurement of the same products and services

When the products and services to be additionally procured are identical with the initial tender and a competitive tendering is judged to be disadvantageous, the



additional procurement can be implemented by a direct contract with the successful tenderer of the initial tender.

(2) Other procurements

When products and services other than those mentioned above in (1) are to be procured, the procurement should be implemented through a competitive tendering. In this case, the products and services for additional procurement shall be selected from among those in accordance with the E/N and the G/A.

m) Conclusion of the Contracts

In order to procure products and services in accordance with the G/A, the Agent shall conclude contracts with firms selected by tendering or other methods.

n) Terms of Payment

The contract shall clearly state the terms of payment. The Agent shall make payment from the "Advances", against the submission of the necessary documents from the Firm on the basis of the conditions specified in the contract, after the obligations of the Firm have been fulfilled. When the services are the object of procurement, the Agent may pay certain portion of the contract amount in advance to the firms on the conditions that such firms submit the advance payment guarantee worth the amount of the advance payment to the Agent.

4) Major Undertakings to be taken by the Government of the recipient country

(a) In the implementation of the Grant Aid Project, the recipient country is required to undertake such necessary measures as the following:

(1) to secure lots of land necessary for the implementation of the Project and to clear the sites ;

(2) to provide facilities for distribution of electricity, water supply and drainage and other incidental facilities necessary for the implementation of the Project outside the sites referred to in (a) above;

(3) to ensure prompt customs clearance and to assist internal transportation in the recipient country and to assist internal transportation therein of the products;

(4) to ensure that customs duties, internal taxes and other fiscal levies which may be imposed in the recipient country with respect to the purchase of the Components as well as the employment of the Agent be exempted/be borne by its designated authority without using the Grant and its accrued interest;

(5) to accord Japanese nationals and / or nationals of third countries, including such nationals employed by the Agent, whose services may be required in connection with the supply of the Components such facilities as may be necessary for their entry into the recipient country and stay therein for the performance of their work (The term "nationals" whenever used in the G/A means Japanese physical persons or Japanese juridical persons controlled by Japanese physical persons in the case of Japanese nationals, and physical or juridical persons of third countries in the case of nationals of third countries.);

(6) to ensure that the Facilities and the Components be maintained and used properly and effectively for the implementation of the Project;

(7) to bear all the expenses, other than those covered by the Grant and its accrued interest, necessary for the implementation of the Project; and

(8) to give due environmental and social consideration in the implementation of the Project.

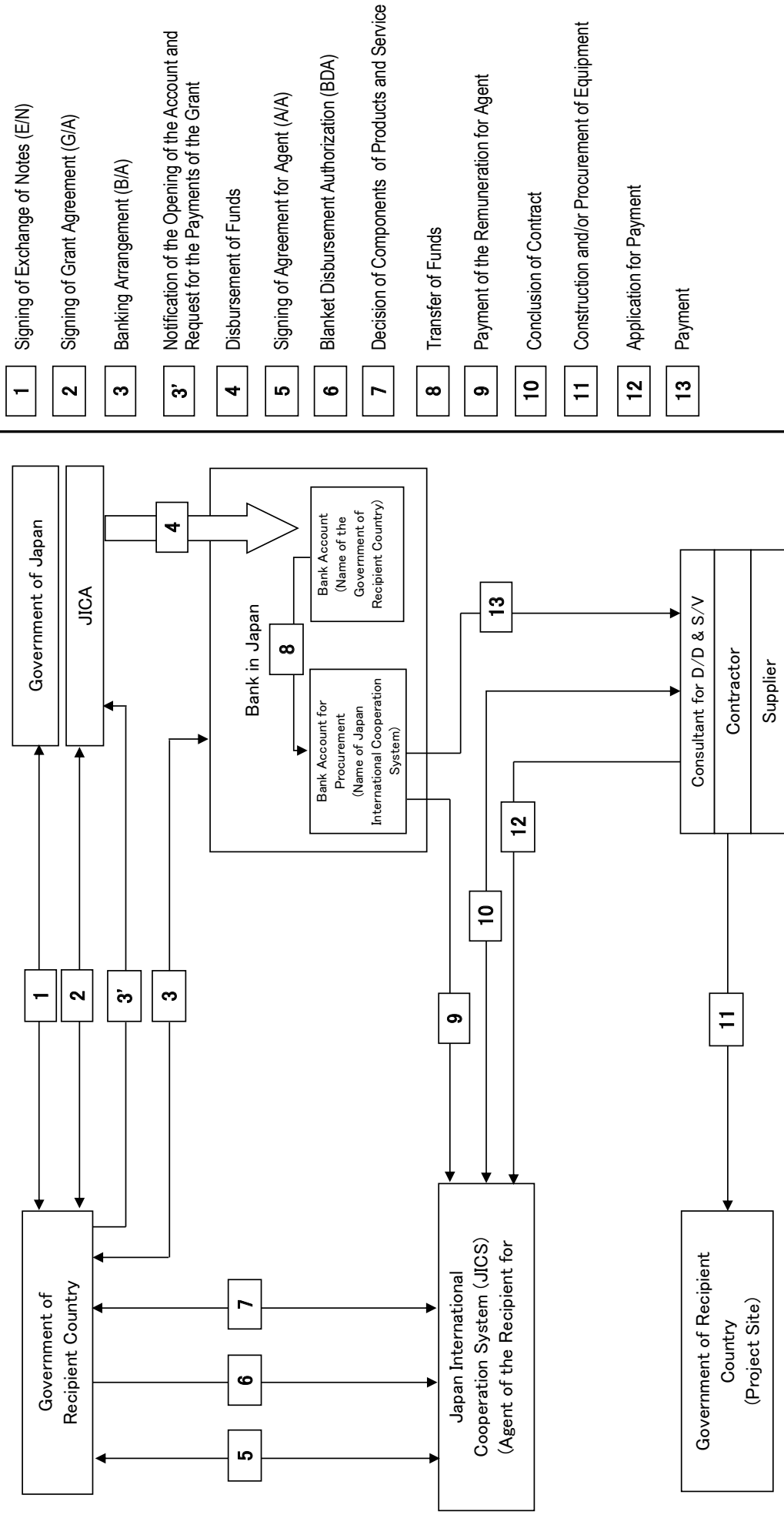
(b) Upon the request of JICA, the Recipient shall provide JICA with necessary information on the Project.

(c) With regard to the shipping and marine insurance of the products procured by the Project, the Recipient shall refrain from imposing any restrictions that may hinder fair and free competition among the shipping and marine insurance companies.

(d) The products procured by the Project shall not be exported or re-exported from the recipient country.

(e) The Recipient shall ensure that any official of its government does not undertake any part of the Japanese nationals' work and / or the work of nationals of third countries on purchase of the Components.

ANNEX 4 Flow of Funds for Implementation under the Japan's Grant Aid for Community Empowerment



## ANNEX 5 Major Undertakings to be Taken by Each Government

No.	Items	To be covered by Grant Aid	To be covered by Recipient Side
1	To secure land		●
2	To clear level and reclaim the site when needed		●
3	To construct gates and fences in and around the site (if necessary)		●
4	To Construct the Parking lot	N.A	N.A
5	To construct roads		
	1) Within the site	●	
	2) Outside the site		●
6	To construct the building	●	
7	To provide facilities for the distribution of electricity, water supply, drainage and other incidental facilities		
	1) Electricity (if public electricity is available at the site)		
	a. The distributing line to the site		●
	b. The drop wiring and internal wiring within the site	●	
	c. The main circuit breaker and transformer	●	
	2) Water Supply (if city water is available at the site)		
	a. The city water distribution main to the site		●
	b. The supply system within the site (receiving and elevated tanks)	●	
	3) Drainage		
	a. The city drainage main (for storm sewer and others to the site)	N.A	N.A
	b. The drainage system (for toilet sewer, ordinary waste, storm drainage and others) within the site	(●)	
	4) Gas Supply		
	a. The city gas main to the site	N.A	N.A
	b. The gas supply system within the site	N.A	N.A
	5) Telephone System		
	a. The telephone trunk line to the main distribution frame/panel (MDF) of the building	N.A	N.A
	b. The MDF and the extension after the frame/panel	N.A	N.A
	6) Furniture and Equipment		
	a. General furniture		●
	b. Project equipment	●	
8	To bear the commissions to the Japanese bank for banking services based upon B/A		●
9	To ensure prompt customs clearance and to assist internal transportation in the recipient country and to assist internal transportation therein of the products		●
10	To ensure that customs duties, internal taxes and other fiscal levies which may be imposed in the recipient country with respect to the purchase of the Components as well as the employment of the Agent be exempted/be borne by its designated authority without using the Grant and its accrued interest.		●
11	To accord Japanese nationals and / or nationals of third countries, including such nationals employed by the Agent, whose services may be required in connection with the supply of the Components such facilities as may be necessary for their entry into the recipient country and stay therein for the performance of their work (The term "nationals" whenever used in the G/A means Japanese physical persons or Japanese juridical persons controlled by Japanese physical persons in the case of Japanese nationals, and physical or juridical persons of third countries in the case of nationals of third countries.)		●
12	To ensure that the Facilities and the Components be maintained and used properly and effectively for the implementation of the Project		●
13	To bear all the expenses, other than those covered by the Grant and its accrued interest, necessary for the implementation of the Project		●
14	To give due environmental and social consideration in the implementation of the Project		●

(B/A: Banking Arrangement, G/A: Grant Agreement)

(N/A: Not Applicable)

PROCES VERBAL DES DISCUSSIONS  
RELATIVES A  
L'ETUDE PREPARATOIRE  
(ETUDE SUR LE TERRAIN II)  
POUR  
LE PROJET DE CONSTRUCTION ET D'EQUIPEMENT DE SALLES DE CLASSE  
DANS LES ECOLES PRIMAIRES PUBLIQUES  
EN REPUBLIQUE DU BENIN (PHASE V)

En réponse à la requête présentée par le Gouvernement de la République du Bénin, le Gouvernement du Japon a décidé d'effectuer l'étude préparatoire de la coopération relative au Projet de Construction et d'Equipement de salles de classe dans les Ecoles Primaires Publiques en République du Bénin (Phase V) (ci-après désigné « le Projet », et a confié ladite étude à l'Agence Japonaise de Coopération Internationale (ci-après désignée « la JICA »).

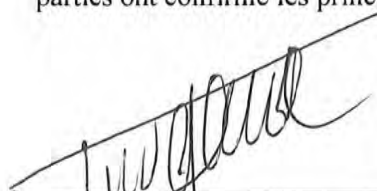
La JICA a envoyé au Bénin une mission d'étude pendant la période d'octobre à novembre 2011 (étude sur le terrain I).

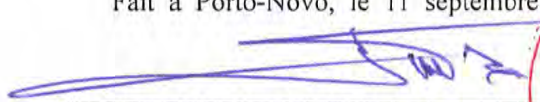
Après le retour au Japon de l'équipe de la mission, la JICA a examiné le Projet et a élaboré l'avant-projet du Rapport de l'étude préparatoire.

Ensuite, la JICA a envoyé au Bénin du 2 au 12 septembre 2012, une autre mission d'étude préparatoire de la coopération (étude sur le terrain II) (désignée ci-après par « la Mission »), conduite par Monsieur Toru Togawa, Représentant Résident de la JICA au Bénin. L'objectif de cette nouvelle Mission est de présenter à la partie béninoise cet avant-projet du rapport de l'étude préparatoire de la coopération et de se concerter avec elle sur le contenu dudit rapport.

A l'issue d'une série de discussions et une étude complémentaire sur le terrain, les deux parties ont confirmé les principaux points mentionnés dans l'appendice.

Fait à Porto-Novo, le 11 septembre 2012

  
Toru Togawa  
Chef de la mission d'étude préparatoire de la  
coopération (Etude sur le terrain II)  
Agence Japonaise de Coopération Internationale  
Bureau de la JICA au Bénin

  
Gilles Théophile YEKPON  
Directeur de Cabinet  
Ministère des Enseignements Maternel et  
Primaire  
République du Bénin



## APPENDICE

### 1. CONTENU DE L'AVANT-PROJET DE RAPPORT DE L'ETUDE PREPARATOIRE DE LA COOPERATION

La partie béninoise a donné son accord de principe sur le contenu de l'avant-projet de rapport de l'étude préparatoire de la coopération présenté par la Mission et l'a accepté.

### 2. SYSTEME DE LA COOPERATION FINANCIERE NON REMBOURSABLE DU JAPON

La Mission a expliqué de nouveau le schéma du système de l'aide non remboursable au développement communautaire du Japon indiqué aux Annexes 3 à 5 du procès verbal des discussions signé entre les deux parties le 23 novembre 2011, et la partie béninoise en a pris bonne note. La Mission a également expliqué que, conformément aux Directives de l'Approvisionnement pour l'Aide Non Remboursable du Japon (Type I-C) (version du 25 mai 2011), les entreprises de construction qui seront engagées pour la réalisation de projets mis en œuvre dans le cadre dudit schéma sont les entreprises béninoises. La partie béninoise en a pris bonne note.

### 3. INFRASTRUCTURES ET EQUIPEMENTS, OBJET DU PROJET

La Mission a expliqué le contenu des infrastructures et équipements qui feront l'objet du Projet (Annexe 1) et la partie béninoise en a pris bonne note.

### 4. COMPOSANTE SOFT

La Mission a expliqué que la Composante Soft ne sera pas mise en œuvre dans le cadre du Projet et la partie béninoise en a pris bonne note. En outre, les deux parties ont convenu que les activités de sensibilisation relatives à la maintenance des infrastructures construites par le Projet seront menées par la partie béninoise.

### 5. COUT APPROXIMATIF DU PROJET

La Mission a expliqué le coût approximatif du Projet (Annexe 2). Les deux parties ont convenu que le coût approximatif du Projet ne devra être en aucune manière divulgué à des parties tierces autres que les personnes concernées avant l'adjudication des contrats pour le Projet. La Mission a signalé que le coût approximatif du Projet n'est qu'une estimation et par conséquent susceptible de modification, et la partie béninoise en a pris bonne note.

### 6. TRAVAUX A LA CHARGE DE LA PARTIE BENINOISE

La Mission a expliqué le contenu des travaux à la charge de la partie béninoise (Annexe 3) qui seront nécessaires pour la mise en œuvre du Projet, ainsi que le calendrier d'exécution du Projet

(Annexe 4). La partie béninoise s'est engagée à assurer la dotation budgétaire nécessaire pour exécuter lesdits travaux et prestations et à les exécuter en tenant compte du calendrier d'exécution du Projet de manière à éviter tout retard dans les travaux du Projet pour que le résultat du Projet puisse être mis en valeur au maximum.

## 7. FONCTIONNEMENT ET MAINTENANCE

La partie béninoise s'est engagée à assurer l'affectation du personnel additionnel qui sera nécessaire suite à la mise en œuvre du Projet avant l'achèvement des travaux de construction des infrastructures. Elle s'est engagée également à mettre en place le système de fonctionnement et de maintenance et à assurer en temps opportun la dotation budgétaire nécessaire pour le fonctionnement et la maintenance.

## 8. CONFIDENTIALITE

Les deux parties ont confirmé que toute information relative au Projet y compris l'information technique liée à l'appel d'offres du Projet ne devra pas être divulguée à des parties tierces autres que les personnes concernées avant l'achèvement des processus d'appel d'offres et de soumission du Projet.

## 9. PLANNING PREVISIONNEL

Le planning prévisionnel du Projet est comme suit :

Etude sur le terrain III (Présentation du document de référence pour l'élaboration du dossier d'appel d'offres)	Mi janvier 2013
Remise du rapport de l'étude préparatoire	Mi mars 2013

## 10. AUTRES

### 1) Comité Consultatif

La Mission a expliqué le rôle du comité consultatif et la partie béninoise en a pris bonne note. Les deux parties ont convenu que ledit comité est composé des représentants des entités ci-dessous mentionnées :

- Ministère des Enseignements Maternel et Primaire
- Bureau de l'Agence Japonaise de Coopération Internationale (JICA) au Bénin
- Japan International Cooperation System (JICS) (Conseiller)

### 2) Exonération des taxes

En vue de la mise en œuvre du Projet, la partie béninoise s'est engagée à prendre les mesures nécessaires pour l'exonération des taxes (l'exonération signifie la prise en charge ou le remboursement des taxes par le Gouvernement béninois à travers la dotation budgétaire)

imposées sur les services effectués par l'Agent d'approvisionnement, le consultant japonais et les entrepreneurs locaux, ainsi que les achats de produits et les actes de marchés relevant desdits services. En outre, la partie béninoise a consenti à accorder des facilités nécessaires à l'exonération pour que les démarches d'exonération du Projet puissent se dérouler dans les meilleures conditions et promptement.

3) Ajustement de sites/composantes, objet du Projet

La Mission a expliqué la méthode d'ajustement et la partie béninoise en a pris bonne note. La partie béninoise a souhaité qu'en cas de manque ou d'excédent de fonds à l'issue de l'achèvement du processus de soumission et de conclusion de contrats pour les sites du groupe 1, il soit procédé à un ajustement du nombre de sites du groupe 2 initialement prévus suivant l'ordre de priorité indiqué aux Annexes 1 et 5, tout en prenant en compte le coût de construction et le rendement d'exécution de chacun des sites.

Dans le cas où les fonds manqueraient à l'achèvement du processus de soumission et de conclusion de contrats pour les sites du groupe 1, au lieu d'éliminer les écoles à construire dans le groupe 2, il sera envisagé d'éliminer la composante de blocs de latrines du groupe 2. Les deux parties ont convenu qu'un tel ajustement sera examiné par le comité consultatif.

4) Mise à la disposition des sites, objet du Projet

La partie béninoise s'est engagée à confirmer que sur les sites, objet du Projet, ni les communes ni d'autres donateurs n'ont construit des infrastructures scolaires avant le démarrage des travaux par la partie japonaise, à envoyer les contrôleurs sur les sites pour vérifier leurs conditions actuelles et à faire délivrer par le Ministère des Enseignements Maternel et Primaire à chacun des départements, avant fin octobre 2012, une notification de ne pas construire sur les sites indiqués à l'Annexe 1. Elle s'est engagée également à remettre une copie de ladite notification au bureau de la JICA au Bénin.

5) Evaluation d'impact environnemental

Les deux parties ont confirmé que l'évaluation d'impact environnemental n'est pas nécessaire dans le cadre de la mise en œuvre du Projet.

- Annexe 1 : Liste des infrastructures et équipements objet du Projet
- Annexe 2 : Coût Approximatif du Projet
- Annexe 3: Aperçu des travaux à la charge de la partie béninoise
- Annexe 4: Calendrier d'exécution du Projet
- Annexe 5 : Liste des infrastructures à construire au cas où il y aurait un reliquat



Annexe 1 : Liste des infrastructures et équipements objet du Projet

Ordre de priorité	CS	ID	Nom d'école	Bloc de salles de classe					Bloc de latrine			Total de superficie de construction (m²)	
				Nombre de SDC à aménager	Bureau + Magasin	Prototype / Total de superficie de construction (m²)				Nombre de cabine à aménager	Prototype / Total de superficie de construction (m²)		
						3SDC 3C	3 SDC + Bureau/ Magasin 3CD	2 SDC 2C	2 SDC+ Bureau/ Magasin 2CD		3 cabine 3L		3 cabine + 1 cabine à usage multiple 3LE
1	DJOUGOU 1/2	53	TEPABA / D	2	1				1	4	1	181.41	
2	MATERI	18	MATERI / D	3	1		1			4	1	252.29	
3	KOUANDE	15	OROUKAYO / C	6	1	1	1			7	1	471.37	
4	DJOUGOU 1/2	49	BAPARAPEI / D	6	1	1	1			7	1	471.37	
5	DJOUGOU 1/2	47	BATOULOU / D	3	0	1				4	1	222.52	
6	KEROU	12	KARIGOUROU / B	6	1	1	1			7	1	471.37	
7	DJOUGOU 1/2	45	GAH / B	3	1		1			4	1	252.29	
8	PEHUNCO	29	PEHUNCO / D	6	1	1	1			7	1	471.37	
9	DJOUGOU 1/2	46	TOKOTOKO / B	6	1	1	1			7	1	471.37	
10	NATITINGOU	27	OURBOUGA / C	6	1	1	1			7	1	471.37	
11	TOUCOUNTOUNA	36	TOUCOUNTOUNA / D	3	0	1				4	1	222.52	
12	DJOUGOU 1/2	50	BOUGOU / A	6	1	1	1			7	1	471.37	
13	COBLY	7	NANAGADE / B	6	1	1	1			7	1	471.37	
14	DJOUGOU 1/2	57	KILIR / D	6	1	1	1			7	1	471.37	
15	KEROU	10	GAMMON-KINNIN / B	6	1	1	1			7	1	471.37	
16	NATITINGOU	28	BORIYOURE / C	3	0	1				4	1	222.52	
17	PEHUNCO	30	SINNAWOURAROU / B	3	0	1				4	1	222.52	
18	NATITINGOU	24	KOTOPOUNGA / B	3	1		1			4	1	252.29	
19	DJOUGOU 1/2	48	SASSIROU / B	3	0	1				4	1	222.52	
20	DJOUGOU 1/2	51	BAKOU / B	6	1	1	1			7	1	471.37	
21	KOUANDE	14	SEKOGOUROU / B	6	1	1	1			7	1	471.37	
22	MATERI	22	TCHANHOUN-COSSI / A	4	0			2		7	1	299.84	
23	MATERI	19	GOUANDE / C	3	1		1			4	1	252.29	
24	MATERI	21	YONDISSÉRI / B	3	0	1				4	1	222.52	
25	DJOUGOU 1/2	55	BAKOUFOWA / B	6	1	1	1			7	1	471.37	
26	DJOUGOU 1/2	44	NIMA (EX PARTAGO-QUARTIER)	3	0	1				4	1	222.52	
27	DJOUGOU 1/2	52	DJAKPINGOU / B	6	1	1	1			7	1	471.37	
28	PEHUNCO	31	GBERASSON / B	6	1	1	1			7	1	471.37	
29	COBLY	8	OUKPINIHOUN	3	0	1				4	1	222.52	
30	MATERI	17	TETONGA / B	4	0			2		7	1	299.84	
31	BOUKOUMBE	3	KOUTCHAGOU / B	5	1	1			1	7	1	400.49	
32	KOUANDE	16	EUC / C KOUANDE	3	0	1				4	1	222.52	
33	MATERI	20	KOUMPEHOUN	4	0			2		7	1	299.84	
34	DJOUGOU 1/2	54	MONMONGOU	6	1	1	1			7	1	471.37	
35	BASSILA	38	BARIKINI	6	1	1	1			7	1	471.37	
36	COBLY	9	SAKOUNTIENOU	6	1	1	1			7	1	471.37	
37	TANGUIETA	33	SANGOU	2	0			1		4	1	151.64	
38	NATITINGOU	25	BOKRONA-POUYA	6	1	1	1			7	1	471.37	
39	TANGUIETA	34	MAMOSSA	3	0	1				4	1	222.52	
40	OUAKE	59	ATCHAKITAME	6	1	1	1			7	1	471.37	
41	BOUKOUMBE	2	KOUPAGOU I	2	0			1		4	1	151.64	
42	DJOUGOU 1/2	56	AKEKEROU	6	1	1	1			7	1	471.37	
43	OUAKE	60	ATCHANKPA-KOLAH	6	1	1	1			7	1	471.37	
44	BOUKOUMBE	1	KOUSSOCOUNGOU / B	6	1	1	1			7	1	471.37	
45	BASSILA	39	KPREKETE / B	3	1		1			4	1	252.29	
46	COBLY	6	TOUGA	3	0	1				4	1	222.52	
47	OUAKE	58	AGUE-GARBA	6	1	1	1			7	1	471.37	
48	MATERI	23	TCHARIKOUANGOU	3	1		1			4	1	252.29	
49	NATITINGOU	26	YOKOSSI / C	6	1	1	1			7	1	471.37	
50	KEROU	11	GOUNENOU-GANDO	6	1	1	1			7	1	471.37	
51	BOUKOUMBE	4	KOUKOUANGOU	2	0			1		4	1	151.64	
52	COPARGO	43	GNAMBAGA	6	1	1	1			7	1	471.37	
53	BASSILA	37	IYO	3	0	1				4	1	222.52	
				241	35	40	33	9	2	305	31	53	18,847.31

Annexe 2 : Coût Approximatif du Projet

施工・調達業者契約認証まで非公開

(2) Frais à la charge de la partie béninoise: Environ 15,37 millions de FCFA (soit 2,60 millions de yens)

Désignation	Montant (FCFA)	En yens japonais (mille yens)
Aménagement des terrains (abattage d'arbres, etc.)	7.660.400	1.298
Commission bancaire	7.705.750	1.305
TOTAL	15.366.150	2.603

Il est à noter que ces chiffres sont le montant estimé par la partie japonaise sur la base des informations collectées dans le cadre de l'étude sur le terrain effectuée en octobre et novembre 2011.

(3) Conditions d'estimation

1) Période de l'estimation : novembre 2011

2) Taux de change : 1US\$ = 79,11 yens japonais  
: 1 monnaie locale (FCFA) = 0,16938 yens japonais  
: 1 euro = 111, 11 yens japonais

3) Période de construction et d'approvisionnement :

: la période des travaux est comme mentionnée dans le calendrier d'exécution du Projet.

4) Autres : l'estimation du coût est calculé en conformité avec le système de coopération financière non remboursable du Japon.

Annexe 3: Aperçu des travaux à la charge de la partie béninoise

Groupe 1 (Département de l'Atacora)

Lot	Ordre de priorité	ID	Nom d'école	Abattage et déracinement des arbres	Démolition / déplacement des équipements existants	Montant estimé (FCFA)
LOT 1	44	1	KOUSSOCOUINGOU/B	1 arbre		154,000
	41	2	KOUPAGOU 1			0
	31	3	KOUTCHAGOU/B	2 arbres		308,000
	51	4	KOUKOUANGOU			0
	46	6	TOUGA			0
	13	7	NANAGADE/B	2 arbres		308,000
	29	8	OUKINTIHOUN			0
	36	9	SAKOUNTIENOU	2 arbres		308,000
LOT 2	30	17	TETONGA/B	5 arbres		770,000
	2	18	MATERI/D	5 arbres		770,000
	23	19	GOUANDE/C			0
	33	20	KOUMPEHOUN	2 arbres		308,000
	24	21	YONDISSÉRI/B			0
	22	22	TCHANHOUN-COSSI/A			0
	48	23	TCHARIKOUANGOU			0
	37	33	SANGOU		Déplacement d'un local cuisine en	44,000
39	34	MAMOSSA	4 arbres		616,000	
LOT 3	15	10	GAMMON-KINNIN/B			0
	50	11	GOUGNENOU-GANDO			0
	6	12	KARIGOUROU/B			0
	21	14	SEKOGOUROU/B			0
	8	29	PEHUNCO/D			0
	17	30	SINNAWOURAROU/B			0
	28	31	GBERASSON/B			0
LOT 4	3	15	OROUKAYO/C	3 arbres		462,000
	32	16	EUC/C KOUANDE	1 arbre		154,000
	18	24	KOTOPOUNGA/B	3 arbres		462,000
	38	25	BOKRONA-POUYA	1 arbre		154,000
	49	26	YOKOSSI/C	3 arbres	Démolition des salles de classe	479,600
	10	27	OURBOUGA/C	5 arbres	Démolition des salles de classe	787,600
	16	28	BORIYOURE/C			0
	11	36	TOUCOUNTOUNA/D	2 arbres	Démolition d'un bloc de latrine	325,600

**Total Groupe 1 6,410,800**

Groupe 2 (Département de la Donga)

Lot	Ordre de priorité	ID	Nom d'école	Abattage et déracinement des arbres	Démolition / déplacement des équipements existants	Montant estimé (FCFA)
LOT 5	52	43	GNAMBAGA			0
	9	46	TOKOTOKO/B			0
	5	47	BATOULOU/D			0
	27	52	DJAKPINGOU/B			0
	1	53	TEPABA/D			0
	25	55	BAKOUFOWA/B			0
	42	56	AKEKEROU	2 arbres		308,000
LOT 6	26	44	NIMA (EX PARTAGO-	1 arbre		154,000
	7	45	GAH/B			0
	19	48	SASSIROU/B			0
	4	49	BAPARAPEI/D			0
	20	51	BAKOU/B			0
	34	54	MONMONGOU			0
	14	57	KILIR/D			0
LOT 7	53	37	IYO	5 arbres		770,000
	35	38	BAKIKINI		Démolition des salles de classe	17,600
	45	39	KPREKETE/B			0
	12	50	BOUGOU/A			0
	47	58	AGUE-GARBA			0
	40	59	ATCHAKITAME			0
	43	60	ATCHANKPA-KOLAH			0

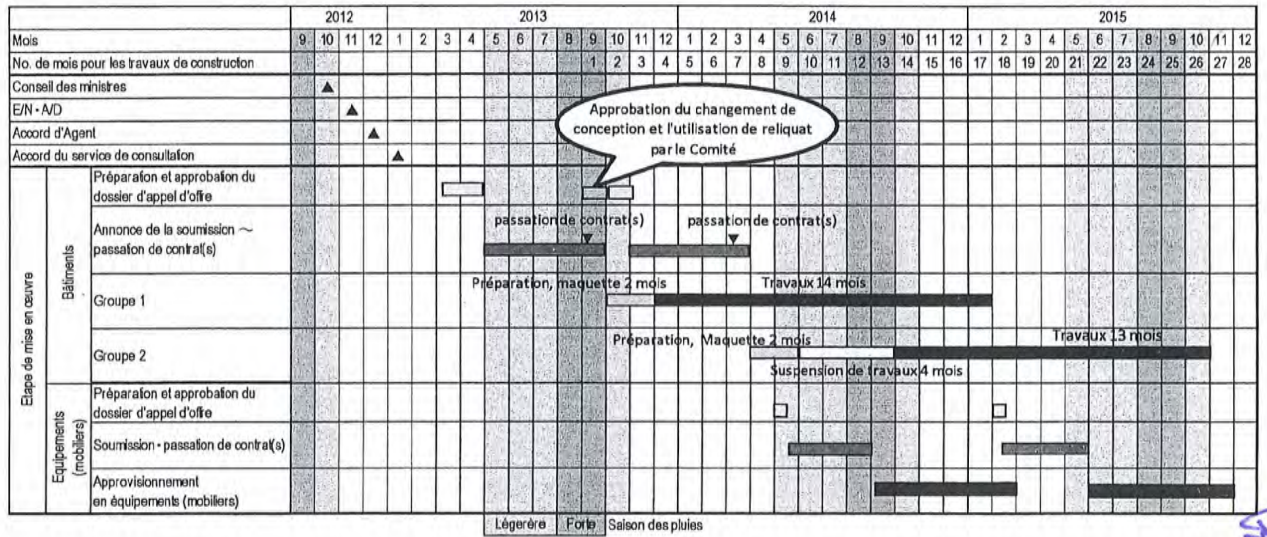
**Total Groupe 2 1,249,600**

**Total Groupes 1 et 2 7,660,400**

Note:

Il est à noter que ces chiffres sont le montant estimé par la partie japonaise sur la base des informations collectées dans le cadre de l'étude sur le terrain effectuée en octobre et novembre 2011.

Annexe 4: Calendrier d' exécution du Projet (provisoire)



Annexe 5: Liste des infrastructures à construire au cas où il y aurait un reliquat

Ordre de priorité	CS	ID	Nom d' école	Bloc de salles de classe				Bloc de latrine			Total de superficie de construction (m <sup>2</sup> )		
				Nombre de SDC à aménager	Bureau + Magasin	Prototype / Total de superficie de construction (m <sup>2</sup> )				Nombre de cabine à aménager		Prototype / Total de superficie de construction (m <sup>2</sup> )	
						3SDC 3C	3 SDC + Bureau/ Magasin 3CD	2 SDC 2C	2 SDC + Bureau/ Magasin 2CD			3 cabine 3L	3 cabine + 1 cabine à usage multiple 3LE
						212.63	242.4	141.75	171.52		6.45	9.89	
54	DJOUGOU 1/2	53	TEPABA / E	6	1	1	1			7	1	1	471.37
55	MATERI	18	MATERI / A	6	1	1	1			7	1	1	471.37
56	MATERI	18	MATERI / C	3	0	1				4		1	222.52
57	KOUANDE	13	GUILMARO / C	2	0			1		4		1	151.64
58	DJOUGOU 1/2	47	BATOULOU / C	3	0	1				4		1	222.52
59	KEROU	12	KARIGOUROU / C	6	1	1	1			7	1	1	471.37
60	DJOUGOU 1/2	45	GAH / C	6	1	1	1			7	1	1	471.37
61	DJOUGOU 1/2	46	TOKOTOKO / C	6	1	1	1			7	1	1	471.37
62	DJOUGOU 1/2	50	BOUGOU / C	3	0	1				4		1	222.52
63	COBLY	7	NANAGADE / A	2	1			1		4		1	181.41
64	MATERI	21	YONDISSÉRI / A	3	0	1				4		1	222.52
65	DJOUGOU 1/2	44	NIMA (EX P ARTAGO-QUARTIER) / B	6	1	1	1			7	1	1	471.37
				52	7	10	6	1	1	66	6	12	4,051.35

## ベナン国第五次小学校建設計画準備調査

### 現地調査Ⅱ

### 協議議事録

ベナン国政府より提出された要請に基づき、日本政府は「第五次小学校建設計画」（以下「プロジェクト」と称する）に関する協力準備調査を行うことを決定し、同調査の実施を独立行政法人国際協力機構（以下「JICA」と称する）に委託した。

JICAは2011年10～11月に現地調査Ⅰを実施し、本プロジェクトの要請内容の確認や事業計画策定に必要な情報収集を行った。その後、調査結果を踏まえて、日本で事業計画の検討を行い、協力準備調査報告書（案）を作成した。

今般、JICAは協力準備調査報告書（案）の内容をベナン国側に説明し、またその内容に関する意見を聴取するため、2012年9月2日から12日まで、JICAベナン支所長 外川 徹 を団長とする協力準備調査（現地調査Ⅱ）調査団（以下、「調査団」と称する）を派遣した。

協議および補足現地調査の結果、両者は付属書に記載された主要な項目を確認した。

ベナン共和国ポルトノボ市 2012年9月11日

---

外川 徹

団長

協力準備調査（現地調査Ⅱ）団

独立行政法人国際協力機構

ベナン支所

---

Gilles Théophile YEKPON

官房長官

幼少・初等教育省

ベナン共和国

## 付属書

### 1. 協力準備調査報告書（案）の内容

ベナン国側は、調査団によって説明された協力準備調査報告書（案）の内容に関して合意し、これを受け入れた。

### 2. 日本の無償資金協力制度

調査団は、2011年11月23日に両者が署名した協議議事録の別紙3～5に記述された日本のコミュニティ開発無償資金協力制度の仕組みについて改めてベナン国政府側に説明し、ベナン国側はこれを了解した。また、調査団は、JICAコミュニティ開発支援無償調達ガイドライン（Type I-C）の改訂（2011年5月25日改訂）に基づき、同スキーム下の事業における建設業者はベナン国業者となる点も改めて説明し、ベナン国側はこれを了解した。

### 3. 本プロジェクトの対象施設・機材

調査団は、本プロジェクトの協力対象となる施設・機材内容（別紙1）について説明し、ベナン国側はこれを改めて了解した。

### 4. ソフトコンポーネント

本プロジェクトでは、ソフトコンポーネントを実施しないことを調査団は説明し、ベナン国側はこれを了解した。なお、本計画で整備された施設の維持管理に係る啓発活動については、ベナン側で実施することで双方合意した。

### 5. プロジェクトの概算事業費

調査団は本プロジェクトの概算事業費（別紙2）について説明した。双方は概算事業費について受注者決定まで関係者以外の第三者に開示しないことを確認した。調査団は、概算事業費は概算であり変更する可能性があることを説明し、ベナン国側はこれを了解した。

### 6. ベナン国側負担事項

調査団は、本プロジェクトの実施にあたって必要となるベナン国側負担事項の内容（別紙3）及び事業実施工程案（別紙4）について説明した。ベナン国側は、スケジュールに則って本体工事が遅延しないよう、本案件成果が十分に活用されるよう、かかる事項の実施に必要な予算を確保し、確実に実施することを確約した。

### 7. 運営・維持管理の遵守

ベナン国側は、建設が終了するまでに、本計画の実施に伴い追加で必要となる人員を配置することを確約した。また、運営・維持管理体制の確立や運営・維持管理に必要な予算の確保・配分を遅滞なく実施することを確約した。

### 8. 秘密保持

双方は、本プロジェクトに関連するあらゆる資料をプロジェクトの入札終了まで関係者以外の第三者に、本プロジェクトの入札に関する技術資料に係る情報を開示しないことを確認した。

### 9. 今後の予定

本プロジェクトに係る今後の予定は以下のとおりである。

現地調査Ⅲ（入札図書作成参考資料案説明）	2013年1月中旬
準備調査報告書提出	2013年3月中旬



## 10. その他

### 1) コミッティ

調査団は、コミッティの役割について説明し、ベナン国側はこれを了解した。双方は、同コミッティが以下機関の代表者によって構成されることを合意した。

- 幼少・初等教育省
- 独立行政法人国際協力機構（JICA）ベナン支所
- 財団法人日本国際協力システム（JIGS）\*アドバイザー

### 2) 免税措置

ベナン国側は本プロジェクト実施のため、調達代理機関及び本邦コンサルタント、現地企業の業務及び業務に要する物品の購入ならびに契約行為に対する必要な免税措置（免税とはベナン国政府が予算措置を通じて税金を負担または還付することを意味する）を講じることを確約した。またベナン国側は、本プロジェクトに係る免税手続きの円滑かつ迅速な実施のために、免税手続きに必要な便宜を図ることを了解した。

### 3) 対象サイト・コンポーネントの調整

調査団は、調整方法について説明し、ベナン国側はこれを了解した。ベナン国側は、第1グループの調達終了後に調達資金の過不足が生じた場合には、第2グループのサイト数の調整を行うこと、サイト数の調整は各サイトの建設費や施工効率に配慮しつつ、原則として別紙1及び別紙5の優先順位に基づいて行うことを希望した。

また、第1グループの調達終了後に調達資金の不足が生じた場合には、サイト毎の削除に代えて第2グループのトイレを削除することも検討する。双方は、同内容については、上述のコミッティで検討されることを合意した。

### 4) 対象サイトの確保

ベナン国側は、対象サイトにおいて、日本側の工事が始まる前にコミュニケーション及び他ドナーによる学校建設が行われていないことを確認し、更に、サイトに検査官を派遣し、現状を確認した上で、2012年10月下旬までに教育省から各県に対して別紙1の対象のサイトに学校を建設しないよう文書を発出することを約束した。また、JICA支所にその写しを提出することを約束した。

### 5) 環境影響評価(EIA)

双方は本プロジェクト実施において環境影響評価は不要であることを確認した。

以上

別紙1：対象施設・機材リスト

別紙2：概算事業費

別紙3：ベナン国側負担事項

別紙4：事業実施工程表

別紙5：残余金が生じた場合に建設する施設リスト

別紙1 対象施設・機材リスト

優先順位	視学官事務所	学校番号	学校名	教室						トイレ			延床面積 (㎡)
				計画教室数	校長室+倉庫	施設プロトタイプ、延床面積 (㎡)				計画トイレブース	施設プロトタイプ、延床面積 (㎡)		
						3教室棟 3C	3教室+校倉 3CD	2教室棟 2C	2教室+校倉 2CD		3ブース 3L	3ブース+1多目的 3LE	
						212.63	242.4	141.75	171.52		6.45	9.89	
1	ジョグー	53	テババ / D	2	1				1	4		1	181.41
2	マテリ	18	マテリ / D	3	1		1			4		1	252.29
3	クアンデ	15	オルカヨ / C	6	1	1	1			7	1	1	471.37
4	ジョグー	49	ババラベ / D	6	1	1	1			7	1	1	471.37
5	ジョグー	47	バトウルー / D	3	0	1				4		1	222.52
6	ケル	12	カリグル / B	6	1	1	1			7	1	1	471.37
7	ジョグー	45	ガー / B	3	1		1			4		1	252.29
8	ベユンコ	29	ベユンコ / D	6	1	1	1			7	1	1	471.37
9	ジョグー	46	トコトコ / B	6	1	1	1			7	1	1	471.37
10	ナティティン	27	ウルブガ / C	6	1	1	1			7	1	1	471.37
11	トゥクントウナ	36	トゥクントウナ / D	3	0	1				4		1	222.52
12	ジョグー	50	ブグ / A	6	1	1	1			7	1	1	471.37
13	コブリ	7	ナナガデ / B	6	1	1	1			7	1	1	471.37
14	ジョグー	57	キリール / D	6	1	1	1			7	1	1	471.37
15	ケル	10	ガモンキニン / B	6	1	1	1			7	1	1	471.37
16	ナティティン	28	ボリユレ / C	3	0	1				4		1	222.52
17	ベユンコ	30	シナウラル / B	3	0	1				4		1	222.52
18	ナティティン	24	コトフンガ / B	3	1		1			4		1	252.29
19	ジョグー	48	サシルー / B	3	0	1				4		1	222.52
20	ジョグー	51	バク / B	6	1	1	1			7	1	1	471.37
21	クアンデ	14	セコグル / B	6	1	1	1			7	1	1	471.37
22	マテリ	22	チャンウン-コッシ / A	4	0			2		7	1	1	299.84
23	マテリ	19	グアンデ / C	3	1		1			4		1	252.29
24	マテリ	21	ヨンディセリ / B	3	0	1				4		1	222.52
25	ジョグー	55	バクフォフ / B	6	1	1	1			7	1	1	471.37
26	ジョグー	44	ニマ	3	0	1				4		1	222.52
27	ジョグー	52	ジャクビン	6	1	1	1			7	1	1	471.37
28	ベユンコ	31	グベラソ / B	6	1	1	1			7	1	1	471.37
29	コブリ	8	ウックビントウ	3	0	1				4		1	222.52
30	マテリ	17	テトンガ / B	4	0			2		7	1	1	299.84
31	ブクンベ	3	クチャグ / B	5	1	1			1	7	1	1	400.49
32	クアンデ	16	EUC クアンデ / C	3	0	1				4		1	222.52
33	マテリ	20	クンベウ	4	0			2		7	1	1	299.84
34	ジョグー	54	モンモン	6	1	1	1			7	1	1	471.37
35	バシラ	38	バリキニ	6	1	1	1			7	1	1	471.37
36	コブリ	9	サクンティエ	6	1	1	1			7	1	1	471.37
37	タンギエタ	33	サン	2	0			1		4		1	151.64
38	ナティティン	25	ボクロナ-ブヤ	6	1	1	1			7	1	1	471.37
39	タンギエタ	34	マモサ	3	0	1				4		1	222.52
40	ワケ	59	アチャキタメ	6	1	1	1			7	1	1	471.37
41	ブクンベ	2	クバグ 1	2	0			1		4		1	151.64
42	ジョグー	56	アケケル	6	1	1	1			7	1	1	471.37
43	ワケ	60	アチャンツバ-コラ	6	1	1	1			7	1	1	471.37
44	ブクンベ	1	クソクワン	6	1	1	1			7	1	1	471.37
45	バシラ	39	ブレケテ / B	3	1		1			4		1	252.29
46	コブリ	6	トゥガ	3	0	1				4		1	222.52
47	コブリ	58	アゲ-ガルバ	6	1	1	1			7	1	1	471.37
48	マテリ	23	チャリクア	3	1		1			4		1	252.29
49	ナティティン	26	ヨコシ / C	6	1	1	1			7	1	1	471.37
50	ケル	11	ググネヌ-ガンド	6	1	1	1			7	1	1	471.37
51	ブクンベ	4	ククア	2	0			1		4		1	151.64
52	コバルゴ	43	ンナンバ	6	1	1	1			7	1	1	471.37
53	バシラ	37	イヨ	3	0	1				4		1	222.52
要請校の合計				241	35	40	33	9	2	305	31	53	18,847.31

別紙2 概算事業費

施工・調達業者契約認証まで非公開

(2) ベナン国側負担経費

約 15.37 百万 FCFA (約 2.60 百万円)

ベナン国側負担経費内訳

費目	金額 (FCFA)	日本円換算 (千円)
敷地整備 (樹木除却等)	7,660,400	1,298
銀行手数料	7,705,750	1,305
合計	15,366,150	2,603

なお、この額は 2011 年 10 月～11 月の現地調査時に得た情報を元に日本側が試算した概算額である。

(3) 積算条件

- ① 積算時点 : 平成 23 年 11 月
- ② 為替交換レート : 1US\$ = 79.11 円  
: 1 現地通貨 (FCFA : フラン・セーファー) = 0.16938 円  
: 1 ユーロ = 111.11 円
- ③ 施工・調達期間 : 工事の期間は、業務実施工程に示したとおり。
- ④ その他 : 積算は、日本国政府の無償資金協力の制度を踏まえて行うこととする。

別紙3 ベナン国側負担事項

第1施工グループ (アタコラ県)

ロット 番号	優先順位 番号	学校 番号	学校名	樹木除去	既存建物除去	概算額 (FCFA)
ロット 1	44	1	クソクワング / B	1本		154,000
	41	2	クパグ 1			0
	31	3	クチャグ / B	2本		308,000
	51	4	ククアング			0
	46	6	トゥガ			0
	13	7	ナナガデ / B	2本		308,000
	29	8	ウックピントィウン			0
	36	9	サクンティエヌ	2本		308,000
ロット 2	30	17	テトンガ / B	5本		770,000
	2	18	マテリ / D	5本		770,000
	23	19	グアンデ / C			0
	33	20	クンペウン	2本		308,000
	24	21	ヨンディセリ / B			0
	22	22	チャンウン-コッシ / A			0
	48	23	チャリクアング			0
	37	33	サング		キッチン移設	44,000
	39	34	マモサ	4本		616,000
ロット 3	15	10	ガモン-キニン / B			0
	50	11	ググネヌ - ガンド			0
	6	12	カリグル / B			0
	21	14	セコグル / B			0
	8	29	ペユンコ / D			0
	17	30	シナウラル / B			0
	28	31	グベラソン / B			0
ロット 4	3	15	オルカヨ / C	3本		462,000
	32	16	EUC クアンデ / C	1本		154,000
	18	24	コトブンガ / B	3本		462,000
	38	25	ボクロナ-プヤ	1本		154,000
	49	26	ヨコシ / C	3本	仮設校舎除去	479,600
	10	27	ウルブガ / C	5本	仮設校舎除去	787,600
	16	28	ボリュレ / C			0
	11	36	トゥクントゥナ / D	2本	既存トイレ撤去	325,600
第1施工グループ合計						6,410,800

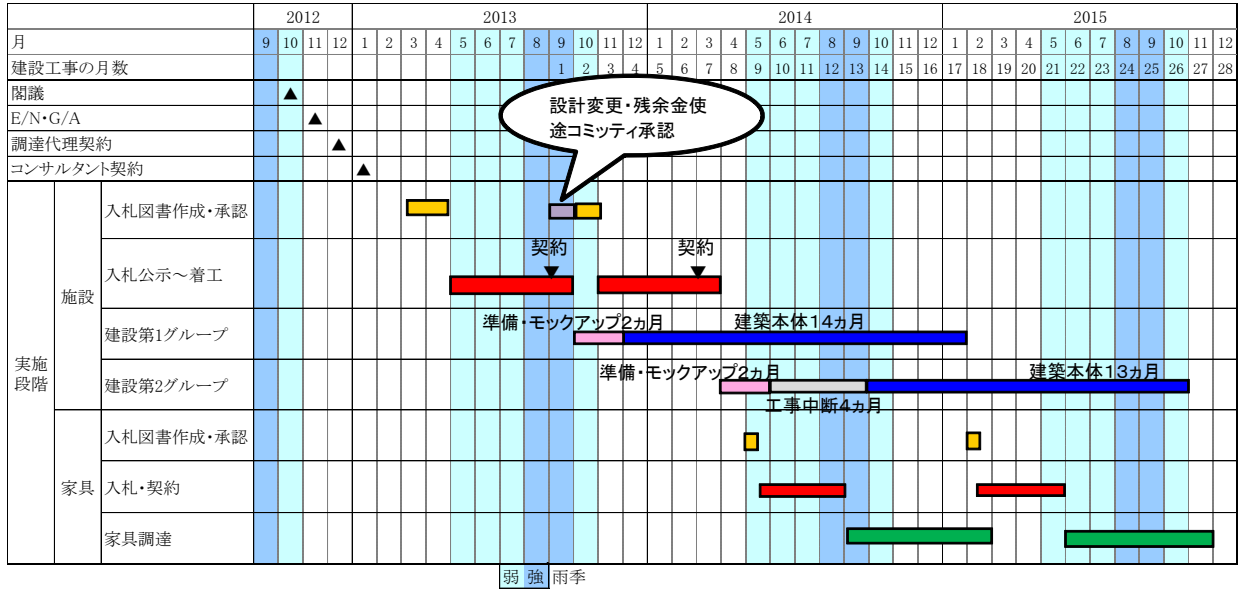
第2 施工グループ（ドンガ県）

ロット 番号	優先順位 番号	学校 番号	学校名	樹木除去	既存建物除去	概算額 (FCFA)
ロット 5	52	43	ンナンバガ			0
	9	46	トコトコ / B			0
	5	47	バトゥルー / D			0
	27	52	ジャクピング / B			0
	1	53	テパバ / D			0
	25	55	バクフォワ / B			0
	42	56	アケケル	2本		308,000
ロット 6	26	44	ニマ	1本		154,000
	7	45	ガー / B			0
	19	48	サシルー / B			0
	4	49	バパラペ / D			0
	20	51	バク / B			0
	34	54	モンモング			0
	14	57	キリール / D			0
ロット 7	53	37	イヨ	5本		770,000
	35	38	バリキニ		仮設校舎除去	17,600
	45	39	プレケテ / B			0
	12	50	ブグ / A			0
	47	58	アゲ-ガルバ			0
	40	59	アチャキタメ			0
	43	60	アチャンクパーコラ			0
第2施工グループ合計						1,249,600

第1、第2施工グループ合計 7,660,400

注：この額は2011年10月～11月の現地調査時に得た情報をもとに、日本側が試算した概算額である。

別紙4 事業実施工程表（予定）



別紙5 残余金が生じた場合に建設する候補施設リスト

優先順位	視学官事務所	学校番号	学校名	教室				トイレ			延床面積 (㎡)		
				計画教室数	校長室+倉庫	施設プロトタイプ、延床面積(㎡)				計画トイレブース		施設プロトタイプ、延床面積(㎡)	
						3教室棟 3C	3教室+ 校倉 3CD	2教室棟 2C	2教室+ 校倉 2CD			3ブース 3L	3ブース+ 1多目的 3LE
						212.63	242.4	141.75	171.52		6.45	9.89	
54	ジョグー	53	テハバ / E	6	1	1	1			7	1	1	471.37
55	マテリ	18	マテリ / A	6	1	1	1			7	1	1	471.37
56	マテリ	18	マテリ / C	3	0	1				4		1	222.52
57	クアンデ	13	ギルマロ / C	2	0			1		4		1	151.64
58	ジョグー	47	バトゥルー / C	3	0	1				4		1	222.52
59	ケル	12	カリグル / C	6	1	1	1			7	1	1	471.37
60	ジョグー	45	ガー / C	6	1	1	1			7	1	1	471.37
61	ジョグー	46	トコトコ / C	6	1	1	1			7	1	1	471.37
62	ジョグー	50	ブグ / C	3	0	1				4		1	222.52
63	コブリ	7	ナナガデ / A	2	1				1	4		1	181.41
64	マテリ	21	ヨンディセリ / A	3	0	1				4		1	222.52
65	ジョグー	44	ニマ / B	6	1	1	1			7	1	1	471.37
グループ校内の他校の合計				52	7	10	6	1	1	66	6	12	4,051.35

## 5. 参考資料

No.	名称	形態	オリジナル・コピー	発行機関	発行年
1	貧困削減戦略文書(2011-2015)	図書	オリジナル	ベナン国政府	2011
2	就学前・初等・前期中等教育統計(2003/04, 2004/05, 2005/06, 2006/07)	データ	コピー	初等・中等教育省	
3	就学前・初等教育統計(2007/08, 2008/09, 2009/10)	データ	コピー	幼少・初等教育省	
4	教育統計記入フォーム	図書	オリジナル	幼少・初等教育省	
5	教育セクター予算の推移	図書	コピー	幼少・初等教育省	
6	幼少・初等教育省支出推移	図書	コピー	幼少・初等教育省	
7	ENI学生数統計(公立、私立)	図書	コピー	幼少・初等教育省	
8	ENIポルトノボ2010-12学生数	図書	コピー	ENIポルトノボ	2011
9	私立ENIアボメイカラビ(ENPI-AC)のパンフレット	図書	オリジナル	ENPI-AC	
10	6000教室建設及び中小企業促進のための特別プログラム、アクションプラン	図書	コピー		2007
11	コミュニン開発支援基金(FADeC) 2006, 2007	図書	コピー	初等・中等教育省	
12	コミュニン開発支援基金(FADeC) 2008, 2009, 2010, 2011, 2012	図書	コピー	幼少・初等教育省	
13	2011年教科書調達配布リスト	図書	コピー	幼少・初等教育省	2011
14	国内出張費制度に関する法令 第2007-15号	図書	コピー	大統領府	2007
15	MEMPアタコラ県・ドンガ県事務所組織図	図書	コピー	MEMPアタコラ県・ドンガ県事務所	
16	MEMPアタコラ県・ドンガ県事務所支出推移	図書	コピー	MEMPアタコラ県・ドンガ県事務所	
17	アタコラ県・ドンガ県教員の不足数と配置数(2008/09, 2009/10, 2010/11)	図書	コピー	MEMPアタコラ県・ドンガ県事務所	
18	2002年センサス分析結果(第1巻~6巻)	データ	コピー	国家統計・経済分析研究所(INSAE)	2003
19	人口予測調査	データ	コピー	国家統計・経済分析研究所(INSAE)	2009
20	地図(ベナン, 1:600,000)	図書	オリジナル		
21	地図(コトヌ, 1:15,000)	図書	オリジナル		
22	Planベナン 2009-2010活動報告書	図書	オリジナル	Planベナン	2010
23	MJCD-ONG、教育セクター活動	データ	コピー	MJCD-ONG	
24	Careインターナショナル(ベナン・トーゴ)パンフレット	図書	オリジナル	Careインターナショナル(ベナン・トーゴ)	
25	CAEB 2010年活動レポート	図書	オリジナル	CAEB	
26	CERIDパンフレット	図書	コピー	CERID	
27	アタコラ県・ドンガ県における資材料金表	図書	コピー		2008
28	ボルグ・アリポリ・アタコラ・ドンガ小学校建設計画BOQ	図書	コピー	AGETIP	2011
29	BIDIII BOQ	図書	コピー	AGETIP	2008